

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-149)、  
廃棄物管理施設(124)、MOX 燃料加工施設(2-101))」

2. 日時：令和6年2月9日(金) 10時00分～12時00分  
15時30分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他9名

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月7日、2月8日及び当日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理方針
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の整理の対応方針

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、次回以降の審査会合での説明項目や示すデータの概要を明確にして、着実に説明できるように計画を立てる。
- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理については、第36条に係る基本設計方針間の関係性や設計項目の内容を明確にしたうえで、設計基準対象施設の設計項目への紐付け等の整理を進める。
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の整理については、まずは構造設計等で示す内容について審査が先行している MOX 燃料加工施設の例や作成ガイドの視点を踏まえて明確にしつつ、代表で説明する設備の考え方を整理する。そのうえで構造設計等の設計項目の説明に必要な図等の拡充を計画的に進める。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

## 7. その他

提出資料

「今後の進め方」

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)
- ・ 令和6年2月7日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和6年2月8日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁カミデです。それでは日本原燃とのヒアリング
0:00:05	をします。
0:00:06	本日は、小穴 12 月 26 日に申請のあった再処理施設及び管理施設、
	またでは、
0:00:13	28 日に申請、またはMOX施設の設工認申請について、
0:00:19	2 月 7 日、2 月 8 日、あとは、本日、
0:00:23	当日の
0:00:25	提出書に基づき、事実確認を行うものです。出席者ですが、規制庁
	側から、本庁側から、オノハバサキコサクフジワラカミデ。
0:00:37	WEBからヨコヤマヤマグチ方がオオハシハライトウます。それでは日本
	原燃の方から、出席者と、あと、
0:00:48	議題の順番で最初今後の進め方だと思いますけど、話を始めてくださ
	い。
0:00:55	はい。日本原燃、
0:01:03	Steeringチームより、ケツク、
0:01:06	ハセガワ、イシカワ、
0:01:08	ノモト、
0:01:10	イシグロ、
0:01:11	タカヤイシハラ。
0:01:14	あとWEBからの参加となりますけれども六ヶ所ユリセガワ。
0:01:18	MOX及び再処理の事務局。
0:01:21	参加させていただいてございます。
0:01:24	本日ご確認いただきます資料は、三つ、三つございまして、今後の進め
	方、
0:01:31	廃棄分は、
0:01:33	再処理施設、廃棄物施設説明グループ 1、括弧構造の見直し方針につ
	いて、
0:01:40	さらにDBSAの設計項目の整理方針。
0:01:45	36 条 8 条、括弧竜巻の、資料をご確認いただきたいと思ってございま
	す。
0:01:52	それでは今後の進め方から、説明の方よろしくお願いたします。
0:01:59	乳井イセあでございまして。一つが目的。
0:02:02	資料の順番先ほど中浜が申し上げた十分ではなくてですね、今後の進
	め方やった後、ディー・ディー・エスへの紐付けの話をして、最後が
0:02:12	説明。
0:02:13	修正の点の話を順番にさせていただきたいと思います。

0:02:17	はい。まず、今後の進め方でございます。すいません軌道のヒアリングとの関係もあって今日の朝になってしまいました。2月9日付で提出をさせていただきます。
0:02:28	はい。まだ、
0:02:32	説明グループMOXの説明グループ1評価のグローボックス関係をどうしていくかというところ、まだ我々の方でちゃんと回答ができてないところもありますので、それも含めて来週の
0:02:42	ヒアリングを含めて、どうしていくかを設定させていただかないといけません。
0:02:46	という状況だと思う。
0:02:50	そういう意味も含めて2ポツのところはまだ、どうするかは確定情報が残っているという意識ではあります。
0:02:58	ただ一部、
0:03:00	1回、
0:03:02	の後ですねその後理事会とそのあとに、説明最初に廃棄物管理の説明グループ1の構造に関するところ、
0:03:10	2回に渡るのではないかとすることも想定して2回分入れてますけど、今後提出時期とヒアリング等どこまでできるかということも含めて、
0:03:23	どういう考え方で設定したのかは、この後、委員の中で、
0:03:34	3.1の2ページ目。
0:03:38	の2-1システム構造設計、はい。
0:03:45	2ページ目も、
0:03:50	最終変更点。
0:03:52	風邪ひいてますが、
0:03:54	いつでも、もし、
0:03:57	フジイに関わる行動設計と、
0:04:01	書いてないんですが、
0:04:02	現状、
0:04:09	中身は見てみると、
0:04:11	もう少し、
0:04:14	すいません。
0:04:18	見てました。
0:04:24	来週また相当、私の目で、
0:04:26	見た上でですね、出すタイミングを判断したいと思うんですけども、
0:04:31	少し遅れん。
0:04:38	DSAのセキ本
0:04:48	めグループ1の

0:04:50	御説明ですけれども、
0:04:52	本日、
0:04:53	質問しております。11月に
0:05:02	一旦提示させていただきます共通受理。
0:05:06	についての説明というのはですね。
0:05:08	まず
0:05:10	代表巣守に設定するんだ。
0:05:17	それと並行してから、その後になるのか
0:05:21	と思うんですけども、
0:05:22	個別に説明すべき事項についても説明をする。
0:05:26	先ほど審査会合資料のところ、
0:05:29	次回に向けてるとというのは、
0:05:31	1回目の会合でしっかり、
0:05:34	考え方と一部、
0:05:36	構造についてもフジキだろうなと思います。
0:05:41	3月議会では、
0:05:43	これはやはりですね。
0:05:46	考え方の中心だってそうなのかなというふうに考えておまして、ちょっと割り切らないんじゃないかということで、その後というところにも、
0:05:55	要は、今、
0:06:02	はい。2の解析の部分でございます。
0:06:06	説明グループ1評価の部分、評価パターン(1)と(2)は、昨日、ヒアリングをさせていただきました、そのうち開始を15日、提出21部屋で進めたいというふうに考えてございます。
0:06:22	問題となっているのが、評価パターン、(3)。
0:06:27	グローボックスのパートにまずは絞って、次回、次回ですね審査会合に向けて整理をしていきたい。
0:06:35	思っております。
0:06:37	8日の日に、資料を提出させていただいてますが、まだやはり、
0:06:44	先日、ご指摘いただいた、構造設計として何をされるべきかというところ、グローボックスの、
0:06:51	構造からしてこういうふうに補強するしかないですとか構造的なもので一応補強はしながらも、
0:06:58	やはり評価の中での機能維持確認加速度ですかね、あれに全部押し付けているところが果たして構造設計とどういう関係になっているのかってところがまだ全然ひも解けてないので、その観点で、

0:07:11	説明の補強なりが、過去の経緯を含めてですね、整理が必要だという認識をしております。そこが評価パターン(3)のところでカセ吉井というところで、
0:07:21	まだ今足りてないところっていうのをご教示しなきゃいけない。
0:07:25	事業も、
0:07:26	それも含めて、来週の1045軒や、
0:07:30	ユフ15をどうするかってのはその最終の状況によって判断が必要だと思いますが、
0:07:36	ということで進めさせていただくということでございます。
0:07:44	一番関係のご説明でございます。まず、2ポツのですね、今後審査会合を接続し、方針なんですけど、ヒライ、私から、加えた修正がですね実は先祖返りしてしまっておりまして、
0:07:57	全くちょっと前回と同じような記載に戻ってしまっておりまして、ちょっとここはどういうことを記載するかと、いうことを最初にちょっとご説明したいと思います。
0:08:06	ですね、3.2の方で、項目を、恐れ入ります、ごめんなさい、補足です。はい。出し直してください。はい。教育ですね。
0:08:17	事務局でできる。
0:08:20	あれ何でそんなことになる。
0:08:26	いやそれは、はい。
0:08:27	でもすごかった。
0:08:29	えっとですね、最終版修正の最終版をですね、富田時にこれ先祖返りしてるっていうのにちょっとすいません。
0:08:43	いえ。すいませんちょっと今ここで座って気づいてしまったというのが正直なところでございます。確認しない。
0:08:50	そうですね。
0:08:54	中浜さん。
0:08:58	江田さん。
0:09:00	石原さんです。
0:09:03	石原さんは、
0:09:05	その次どういうチェックの仕方をして、はい。すいませんこれ正直作業を、
0:09:12	別々にやって、私が前半部分作って、後半部分を沼尾さんからもらって、差し込んだまではやったんですけど、
0:09:21	それが古かったってことで、江藤サンポツジオオバ家帰っていただてるんだけど、日本のところの修正を入れ替えていただいていない。

0:09:29	はい。のに私も気づかなかったすいません、完全に私のですね、2 ポツ っていの、
0:09:34	1 ダイゴの時はちょっとですね。はい。
0:09:38	この 2 ポツのところです。
0:09:46	それでいうと変更点がどこかっていうののコミュニケーションエラーと、
0:09:54	で、
0:09:56	ヒアリングチーム内で、
0:09:59	チェック機能が働く、進め方をしてないっていうのはよくない。
0:10:10	でそれ、
0:10:11	一番問題なのは、多分石原さんが個別の作業もしつつ、
0:10:18	トータルマネジメントまでやってるっていうことだから、決得さんわかりま せん。
0:10:22	すいませんアノイシハラの修正点ノモトの修正は、オダ括弧私は確認し てます。こう直しますと、聞いてそれではそれで行こうと言ってるから、そ の仕上がりを私が確認してないのは私の
0:10:35	再最終的なチェックミスだと思いますので、ちょっとその辺のワンステッ プ入れることだろう。
0:10:41	私が長谷川さんと考えていると入れたいと思います。はい。お願いします す。
0:10:46	根井さんとか岩原じゃ、とりあえずしてください。修正はしますのと、2 ポツのところ、地盤のところですね。今週のヒアリングでいろいろ面談 で、お話いただいた議論をさせていただいた通りに直しておりますちょっ と。
0:11:02	この今の紙はなっておりませんがそこは、2 ポツのところのちょっ と口頭でちょっと、
0:11:08	はい。はい。はい。はい。今日は井元のところですね記載すべき内容 なんですけれども、まず議会審査会合でのご提示事項でございます。こ れはですね
0:11:18	実はハウス 2 の項目とアトベ、
0:11:23	おそらくご理解いただきやすいと思いますので、3 ポツの方を必要。
0:11:29	でしょうか。はい。同じもので、杉浦です。前回、前々回話しましたけど 整合取って作ってねって言ってそうなので、その話。
0:11:40	それが入ってますって言えばいいってこと。そうですね。はい。はい。な ので、サンポの方ご覧いただきまして、時間の審査会合でのご説明事 項は、ここに書いてある



0:11:51	都丸域のデータ再整理までのところについての、この介護不満さん、コメント回答と見直し内容というのが、まず、ご説明しなくちゃいけない話、それから②の敷地一番の特徴をとらえて地下構造、
0:12:07	これの答えをお示しする。それから、③設計に用いる地盤モデル、基本地盤モデルですね、作成方針及び結果、これも今回、
0:12:18	我々の今の思惑でございますこれが、
0:12:22	次。
0:12:23	この基本基盤モデルを、の作成結果を今回お示し今回ください次回お示ししますけどもそれに基づいた入力地震動の算定結果のすべてはちよっと作業上無理なんですけれども、一部ということで
0:12:38	中央基盤のところでお示しすると、いうことを考えてございます。
0:12:46	はい。
0:12:47	ちょっとあそこがですね、どの範囲でお示しできるかっていうのは今後ちよっと調整させていただいて、
0:12:53	一番広い意味で、荒瀬江藤さん、最低限終点については間違いなくお示ししないといけない。
0:13:01	4人日があとどれぐらい広げるかというのを調整したいと思っております。今後、補足です。数の話だろうけど、周辺っていう表現が正しいのかどうか、ない新しい新しい新しいグループへの
0:13:16	受診。はい、そうですはい。
0:13:21	で、着議会がそこまででそれが3月の会合でお示しできたらと思っておりますけれども、
0:13:31	そこからですね、でき上がり次第、すべての地盤の入力地震動をお示ししていくと、そういう段取りを考えてございます。
0:13:41	補足ですちよっと。
0:13:43	途中から
0:13:45	やりとりの形にしてしまったので申し訳ないんですけど、せっかくなので、ちよっと確認させてもらおうと。
0:13:52	当間に、
0:13:53	3月には一通り出すのはできないという古藤の状況はわかりましたけど、
0:14:00	いつ出せる。
0:14:02	全部、ちよっと私は辻自治会さん4月また3月まで4月の審査会合。
0:14:10	そっちからまた計算するだけですがちよっと計算が13%と非常にメーターも多いので少し時間がかかるというわけで、それが実は実際用として2週間歩道かかるというふうに見込んでました。ただ、チェック、これ大丈夫と思うんですねチェックで変なもん出してしまうと、

0:14:24	何なんですね、チェックを練りにやりたいというところで、4月の会合にワダすべて出せるという、
0:14:31	あとは力技というところで持っていきたい。
0:14:39	3月の会合で④の一部を出すといったときに、
0:14:45	⑤は触れない。
0:14:48	⑤は、④の入力地震動をお出しし切ったところでお話しすべき話なのかなというふうには私思っていました。
0:15:01	見てもないよりその次のステップ、
0:15:04	大きい小さいとか何か比較とかいう話できないのかなという。
0:15:08	ただ、考え方というのは、大きなフロー、細かい判定基準としての大きなフローは話できるかなと。
0:15:15	そうです。それぐらいは言っていた方がいいかなと思うんです。でないと、これまでも話しましたが、前段の、
0:15:24	部分をどこまで議論する必要があるのかっていうことがわからないので、
0:15:28	よろしくお願いします。で、
0:15:31	言われるように、中央地盤の主要な領域だけだと。
0:15:38	比較的変わらないはずなんですよ。
0:15:41	なので、それはそうでしょう。
0:15:44	他はっていうふうにしかないと思うので、その他はって言ったときに出了たときにどういう議論が必要なのかっていうイメージをですね、もっと、
0:15:54	というふうに思ってます。
0:15:57	はい。
0:15:58	わかり3月末の審査会合には、⑤の考え方の大枠のところをお話できるような進捗を進めたいと思います。
0:16:08	はい、そうです。当然ですけど、4月、3月の会合では、4月には何までやり、
0:16:16	まずというようなことは言っていてその後の進め方みたいのも少し見えるようにしといて、
0:16:22	いきたいと思います。
0:16:25	はい、承知いたしました。
0:16:27	それで、会合での溝のところをご説明差し上げましたけども、そこに向けたですねヒアリング等でのご確認のスケジュールについて3ポツ、2のところ、都築でございます。

0:16:41	訂正等も、結論から申し上げますと、次回会合資料につきましては次回予想に2月末にお示しする予定のものにつきまして、2月14日に廣瀬氏そ少しデータが入りきれないところもありますけれども、
0:16:57	こういうデータを示しますということも含めてご相談を出して、15日にヒライいただくと、20日にはフルセットのところでお出して21日はいただくと。
0:17:09	でですね、これに基づきましてコウ耐震でも08なんですけれども、実はですねこの話をしている時2月20日の資料提出が、
0:17:19	ちょっと我々の中でですねちょっと無理ですというような話が上がって参りました。何、何が無理なのかということで、紐解いて参りますとデータが出てくるのがこの2月の
0:17:32	この13日を使用の末になると、そこを元にですねデータを加工してやるということでもともと16日お出しするというのが、難しいんだというような話が上がって、
0:17:46	ですね今回、この会合に向けてちゃんと必要なデータを出し仕切るという観点でいったときに、ですねこのもう20日のですね
0:17:56	資料ですこれ出づらいんだと思ってますからここにはもう、パワーポイントの中で、すべてのご審議いただくデータを入れ込む形にしてパワーポイント形式で一旦データを出し切ると。
0:18:07	で、等でですね、このお出し切ったデータをですね、この耐震化でも08期に反映する形で、そうすると、ちょっと時期的にですね、2月22という、
0:18:20	ヒアリングもいただけないようなタイミングにはなるんですけれども、
0:18:24	ですけど
0:18:24	ご審議いただく、もう
0:18:28	ご確認いただくデータはもう20日の試運PowerPoint入れてしまって、このですね、ある意味、08はですね、同じ内容が入った形式として、
0:18:39	もうお出しする形にさせていただくとちょっとこういう進め方をさせていただけないかということでございます。以上でございます。
0:18:55	耐震から先言っちゃいましょうか。
0:18:56	はい。
0:18:57	一番ぐらい。
0:19:04	すいません、ちょっと最近じゃ今そのデータの整理に時間がかかるっていう固定的な。
0:19:16	えっとですね、今回基本地盤モデルの算定、基本モデルの設定結果までお示しいたしますので、減衰をですね、

0:19:26	今回、イワモトにas-isを決めて、その応答の比較というのが、これ入ってくる形になります。そういうところの整備が必要なんだというふうに思ってます。
0:19:39	はい。
0:19:40	イシタアノ。
0:19:41	今集約し直すべきじゃないですか。はい。そのブルーの設定は、そんなには時間かかる。
0:19:48	ある意味ですね本地通も有識者の方々に来ていただきますけども、有識者のご見解も踏まえても、今日中に、
0:19:59	もう方向性決めて走りたいと思っているというのが今の断面でございます。はい。議長。はい。
0:20:04	その上で、その下水の話を含めて、はい。大戸までって言って、
0:20:09	冒頭まではいですが次介護には絶対お示ししないといけないのでこれを、20日のパワーポイントに盛り込みたい。これが私の思いでございます。
0:20:17	はい。
0:20:22	規制庁、深見ですけど。
0:20:25	いうと、②が、次、はい。
0:20:32	特には件数ですよ。
0:20:37	幾つかありますよ。
0:20:39	もう一つに絞って、これを基にする。
0:20:43	5D、見ていくんだ。その一環ということをするんだ。
0:20:48	ていうところが、
0:20:50	会合でちゃんと議論したいと。はい。
0:20:53	そのために、
0:20:56	②、
0:20:57	の内容が、はい。
0:21:01	14に、
0:21:02	14. 津野解放資料 2、
0:21:05	しっかり書けますか。
0:21:07	どういう状況ですか。
0:21:09	14、2番。
0:21:12	重要グループの資料 24、24日でした。すいません。
0:21:23	14日提出の資料にかける話は、これはですね、as-isの減衰として、この考え方に基づいてこういうふうに設定しましたというは、
0:21:38	我々の考え方は14日のところにお出しできると思います。
0:21:42	はい、斉木です。

0:21:44	で、
0:21:45	それを、はい。
0:21:47	13に出せないですか。
0:21:51	13は、えっとですね、今日んなる位置にちょっと有識者の方のご意見を踏まえて、
0:21:59	作ってはいくんですけれどもそうですね。
0:22:03	ちょっと有識者の方に作った後のレビューもただかんとということも考えると、
0:22:08	ちょっと13日丸一日いただきたいというのが正直なところではございます。
0:22:14	規制庁、丹治で。
0:22:16	なんでそういうこと言うかっていうと、うちも、
0:22:19	そうですね。
0:22:20	中でちゃんと話して臨みたいと。はい。前野木野いう形で、きっと次の日の朝だったら意味なくなっちゃう。5年っていうのは、
0:22:34	10 ヤマモト 14日の午前に出すつもりだったんです。
0:22:37	それを13日は止められないかというご提議をさせていただいたら、13の夜遅くなってしまうことになります。朝一
0:22:45	9時、
0:22:46	はいはい、どうぞ。
0:22:50	そこまでケース。
0:22:52	団体でもないんですか。わかりました。14、わかりました。はい。
0:22:59	まずですね、
0:23:00	出せる、順調に、万が一順調に進んだ場合は当然前に出しますもちろんはい。
0:23:08	はい。
0:23:11	するとその話は、
0:23:17	ええ。
0:23:18	話。
0:23:29	あと
0:23:33	①の、
0:23:34	この間の会合で、特別の、
0:23:37	4本、起こすっていったところは当然
0:23:41	話はあるんですけど、独法通の宿題返しているのはどんなイメージ。
0:23:48	4ポツまでの宿題がいしはいただいたコメントに対するQ&Aでのお答えとそれからお答え踏まえた、

0:23:59	前回会合資料の修正が校内にこうこういうふうな修正になりますといったようなご提議をする形でのご回答を考えております。
0:24:08	はい、規制庁はですねそれも2月14日の解除資料には、もう載っててってということですかね。
0:24:15	ありがとうございます。えっとですね、
0:24:19	結果系が全部技術部長作らないといけないところがあるので、そういう意味ではこういうお答えしますという方針は全部書けますんで、結果系のちょっと図面また作ってますがちょっとそういうのが残る可能性があります。
0:24:32	はい、規制庁。
0:24:39	はい。
0:24:40	後は、最後の方に行っていた、08が間に合わないだろうなっていう感じがよくわかんたと思うんです。
0:24:53	パワポで、
0:24:55	検討しますって言っていたんだな、何の話ですけど、2月20日の資料提出、2月20日の資料提出は、パワポでの会合資料、
0:25:05	になりますけれども、追ってこれ20日ですね、そのパワポの会合資料の中の付録みたいな感じで何かデータがいっぱい。
0:25:14	作らず、
0:25:15	有名人ですよ。
0:25:17	そうですね。はい。そんな、どんなデータなんで、
0:25:21	ないので、何。
0:25:22	だけど、何何の情報がそこに、
0:25:25	はい。
0:25:27	阿藤。
0:25:28	会合資料の付録にハラれるデータですよ。すみません。衛藤。
0:25:34	ちょっとあまり、
0:25:36	あれですね、どれを付録にっていうのはあれなんですけれども少なくとも、このさっき申し上げたような口頭解析の結果系のデータっていうのは、全部を処理しないといけないので、そのですね、
0:25:50	実際のアウトプットをですね、それをほぼ中に入れるのだけど、黒くなるかなのかともかくとしまして、どういうやり方をやったのかというプロセスと、それからどういう条件でやったのかという条件と、それから結果と、
0:26:03	というようなところは全部イシイてお示しする必要があって、であるイマダとパワーポイントで、ある意味、結果だけちょっとお示していたようなこともあったかと思うんですけども今回もうパックの中に全部入れ込むという形でやっていただくのかなと。

0:26:16	逆に、その情報を 08 に、移植するようなそんなものでちょっと 08 期を追ってお出しさせていただくと、ちょっとそういう順序ちょっと逆ですけども、
0:26:26	言わしていただ。
0:26:28	カナイとちょっとなかなかうまくできないかなと思いながらやっております。
0:26:35	規制庁ですけど、応答解析データって何なんですか。
0:26:41	基本地盤モデルを策定する時に、as-isのas-isの地盤での応答解析の結果と、
0:26:53	それから基本地盤モデルとして設定するモデルでのアノオダシノの設定にするところが、
0:27:02	そこが技術なんですけども、
0:27:04	減衰を一定で、この一定でイダというのを示すのデータとか、
0:27:11	ちょっと細かい議論になって、
0:27:15	減衰は何かしらのメディアで言いました。
0:27:20	それ以外の物性値とかなんですか。
0:27:23	それは物性値は、基本あれですね衛藤as-is物性がそのまま横滑りになると思ってます。
0:27:33	いや、Bは火セエミ。
0:27:37	清木 1009%。
0:27:41	あとは横瀬。
0:27:48	ちょっと今as-isでは、岩盤部分の非線形性、池山高瀬がアセスと似てるんですけども、旧実際の地盤条件も設計条件、
0:27:59	が妥当ですという話をしようとしており、
0:28:12	タダコウになりましたっけ。
0:28:14	エンドウんです。
0:28:16	えっとですね、
0:28:18	減衰の話を書いて減衰で、提案お持ちすることになりますけれども、このアウトプットというのがas-isに対して設計で用いる妥当だということを示すために、応答解析、その両者での比較を出すということで、
0:28:34	イセ、
0:28:37	アズイズだから多分リニアで、
0:28:40	の波と、はい。あとその 1 個先、設計地盤モデル。
0:28:45	うん。
0:28:47	にしたときの件数が一定した状態の中、両方出します。
0:28:53	それを今度は応答を出して、はい、その比較を示しすることを考えてます。

0:29:03	丸さん。
0:29:05	うん。規制庁和気です。ちょっと整理すると、今日の資料の2ページ目、
0:29:10	ちょっと出してないのかもしれませんが、
0:29:13	①に書いてある項目で、最初の改革が、
0:29:19	前の資料、今週の資料でいう4ポチなんですね、30、それからデータの精細整理、これはもうポツ、それは、10グループを集約するようなことだね。
0:29:30	で、②のところに行って、これが敷地の地盤、特徴をとらえた地盤地下構造、⑥の、ここでは、減衰は複数あるのではなくて、
0:29:41	一本の線にかかるエリア団体、
0:29:45	それが
0:29:48	8グループなのか、要は集約したもの。はい。はい。ね。
0:29:51	で、次回の会合は③まで提出するということだと、③下は今度、減衰の話にすると、これ周波数一定の周辺、
0:30:02	ただここでは全部出しきれないんで、例えば、
0:30:06	代表1グループだけになります。
0:30:08	その際に、その代表1グループに対して、②であった減衰の条件の入力動のスペクトルと、③の条件の
0:30:18	スペック、
0:30:19	この比較をいたしますが、
0:30:24	その代表以外の情報についてはログに回すわけです。
0:30:28	それは、
0:30:29	間に合わないっていう話ですよ。1回今のお話では、ちょっと低下しますけど。そうですね。基本地盤モデルは、今回、全部出します。
0:30:41	で、先ほど一部しか出ないって言ったのは、3月末に出す応答解析結果の青トガシ、そうですね。アウトプット基本地盤モデルに基づくタケヤの入力地震と、
0:30:53	の算定が3月末には全部出ませんというふうに申し上げておりました。はい。で、今回ですね基本地盤モデルは、すべてお出ししようと思っていますので、そのご説明の仕方を全部本部に入れるのか一つだけ本部にてあとプログループの勝手な構成なんで、ちょっと説明しやすさでちょっと考えて、
0:31:12	タケヤと思います。はい、わかりました。
0:31:17	ちょっと探しに行きますと03段階でまだやってるのは、Ss-A一派でやってるわけなんで、03段階で全部出しますって言われてもそれはSs-Aだっていう話ですね。
0:31:29	へえ。3月末で出せませんって言ったら、13分モリタだけしかですね。



0:31:34	3 月末段階で出せないと行きましたのは、えっとですね、Ssは、1 から 13 までいると思うんでいるんだけど、やるんだけども、
0:31:46	一つのエリアでの一つの建屋、建屋の建屋でのフルセットの入力地震動を、一度試して他の建屋も同じようにお示しますといったようなお示し方になるのかなというふうに思ってます。はい。
0:32:01	ちょっと代表で出すものを出さない、ない、大丈夫です。
0:32:06	ここにちょっと書いて形成させていただくと思いますんでそこにわかるように記載したいと思います。
0:32:13	はい。
0:32:14	はい。
0:32:16	はい。
0:32:18	丸ニワ。
0:32:20	基礎下濃度が全グループ。
0:32:23	うん。
0:32:24	出します。
0:32:26	それが、
0:32:29	出しますね。
0:32:31	丸さんも、
0:32:33	全グループの木曾首藤 の、
0:32:36	で、
0:32:39	2 月末、
0:32:41	の会合に、
0:32:42	次、そういうことです。
0:32:48	麻生アノ木曾下の大田と、
0:32:52	基礎下の方と基礎下の応答で、比嘉企画する。はい。右と左のものが、同じするってことね。はい。
0:33:03	はい。
0:33:07	そのデータが、
0:33:09	その確認、入れ込み切れないから、その作業ができないから、2 月 20 日時点の資料 6 に一通りをつけます。
0:33:20	はい。
0:33:21	はい。規制庁、
0:33:24	井出。
0:33:25	それはそれでいいんですけど、その 08 ってそれ以外の作業があるじゃないですか。はい。それはどう。
0:33:33	等ですね、

0:33:37	はい一通り等対応考えています。ちょっとすいません。ここですね、積み残しがある、すいませんちょっと整理させていただきたいと思います。
0:33:49	おそらくですねこの時点で積み残しになるのは、このですね今回の基本基盤モデルは、はい。
0:34:00	12月14日提出の会合資料2、4ポツなりの宿題がコメントリストということで成立。
0:34:11	はい。それは、08のところ、どういうところ。
0:34:16	つけるんだっていうところまでちゃんと説明できるようにして、整理して伝えて、その上でじゃあその08が出せますよっていうところを、で、2月15日っていう、
0:34:30	はい、わかりました。はい。
0:34:35	私は
0:34:43	最後カミデが行ったところですけど、
0:34:48	前回の会合で、
0:34:51	金城審議官から、
0:34:53	泊奈良ったらみたいなことを言われましたけど、
0:34:56	対応状況が悪ければ、
0:34:59	こちらも相互の対応に切り換えなきゃいけないくて、
0:35:02	手間が増えるので、
0:35:05	しっかりとやっていただいて、その状況を踏まえて考えて、
0:35:15	地盤がアップサーベイスコア。
0:35:19	人という話ができたといい。
0:35:23	その他のお話をしていきたいと思いつつですねちょっと全体の流れ、
0:35:29	確認なんですけど、
0:35:33	全体の中で2ポツの話。
0:35:37	2ポツ自体は、
0:35:40	1回では済まないだろうということ、それはそうだろうなと思うんですけど、
0:35:47	それがどの程度のものと思って対応してんのっていうのがわからない。
0:35:52	ですね。
0:35:54	まずも、
0:35:58	複数の方は、パターン(1)(2)は仕上げるつもり。
0:36:04	いいですよ。
0:36:06	(3)はどこまで。
0:36:08	はい。
0:36:11	窪さんは少なくともその評価の前提になる構造設計のところ
0:36:15	での説明。

0:36:17	報道設計上の耐震で抑えなきゃいけないポイントはAの話も含めてですね、隙間を、
0:36:24	上げないようにしなきゃいけないとか、そういう設計としての前売りのお話をしないとイケないということで、それも含めた形での評価のやり方。
0:36:34	ていうのがどう繋がるのかっていうところまでは、少なくともやらないといけません。
0:36:38	うん。
0:36:41	はい。そこでそうすると、
0:36:46	29 までのスケジュールってどうなの。
0:36:50	はい。
0:36:58	カミヤなってますか、認識をしています。はい。14 日、今、ヒアリングを入れさせていただいて、過去の加振試験も含めた、
0:37:10	メーター関係の事実確認を、事実関係の説明をさせていただく、よう海田したものを、ここも、不足点があるのは認識していますので、
0:37:21	15 日のヒアリングえてますけど、どういうところが足りなくてどういうことを今日しようと思ってるのかっていうところは、15 日の断面では説明をした上で、しっかりと方向性の説明をしないとイケない。
0:37:34	その打ち返しが今 19 日に資料を出して、22 にヒアリングが入っている。
0:37:42	ただこの期間がかなり、29 日ねらって、かなりタイトになってるので本当にこの期間で、それを見ていただいて、ヒアリングできるのかっていうのは、
0:37:52	考えないとイケないと思ってます。てか、その上で、さらにこの 2 回しか今ないので、それで足りるかという、
0:37:59	29 万円の間では、もうワンクッションぐらい入れておかないと、多分足りないと認識しながらも入れてクマガイはないと。
0:38:08	アノ 22 の、
0:38:10	うち開始を次の週にやらないと。
0:38:15	イシイサカイトモダないんですけど、どういうことまで説明してどういうポイントが問題でみたいなところ、事実整理までできてないできないのか。
0:38:26	うん。
0:38:27	不足です。ステップ数ふやすのは現実的に多分ありえない。はい。
0:38:34	と思うんですね。我々の資料見る時間っていう以前に、こちらが資料つくれないんで、
0:38:43	焦点をしっかりと明確にして、
0:38:47	29 日にどこまで抑えて、次のステップ、
0:38:50	にするのかっていう、

0:38:52	身の丈に合った計画を立てていただくっていう人が大事かなと。
0:38:59	いうふうに思いますっていうのも、
0:39:01	結局、機能が、
0:39:04	あった。
0:39:06	ドイでしたっけ。昨日です。すみません。本当に時間の経過がわからなくて申し訳ないんですけど、
0:39:14	結局はいろいろと書いてもう入口でこけたら、何ももう意味がない形になっていてですね。
0:39:24	ええ。
0:39:25	そこら辺をこちらから入口のはなしを質問するっていうのもありえないので、そういうところは、
0:39:34	グローブボックスという隔年特有的なものであっても、
0:39:40	これ説明ついてないんじゃないっていうのわあ、支援者でわかると思うん。
0:39:45	ですけど、
0:39:47	イシカワセキクボです。すみませんちょっと私も会社の方でも
0:39:54	どこまで野瀬
0:39:58	食べて、
0:39:59	落とし込んでいくかとか、
0:40:00	詳細の部分の、
0:40:07	今、握るのはコサクです。握るって言われましたけど、できるというよりは社内で、社内の誰もが見ても、確かにそうだよねと。
0:40:17	社内で言っても原燃社内だと、何も考えずにそうだよねって言っちゃう人が多いので良くないんですけど、他の目から見ても、
0:40:27	ちゃんと筋が通っていて、説明根拠としての説明もしっかりととれるねと。
0:40:32	いう納得感のある、
0:40:36	まとめ方になってるか。
0:40:38	というのを、
0:40:40	見て欲しい。
0:40:42	ですね。
0:40:46	前から言っている通りそういう面で我々はまず見ていて、
0:40:50	それに耐えられないと次に進めない。うん。
0:40:54	ですよ。
0:40:56	ていう感覚を早くする。
0:40:59	事業者内でもっていただいて自分たちがやってることがある。
0:41:03	いかに真っ当にできてるかということなわけで、

0:41:07	それナイトウ日々自分の業務が不安になるはずなんですよ本来。
0:41:13	本当にこれでいいのか。
0:41:15	なんで
0:41:16	こうしてたんだっけ。
0:41:19	いうところを払拭して行って、
0:41:24	なんすかね、落ち着いて、
0:41:26	しっかりとして地盤の上で、
0:41:28	仕事をしていくと。
0:41:30	いうことを早く実感を持って、
0:41:34	やって欲しいじゃないといアノ運転なんてとても怖くてお任せできないということなので、
0:41:42	そういうまず、内容以前にそういう姿勢を、
0:41:47	徹底させると。
0:41:49	いうことに、
0:41:50	注力していただきたい。
0:41:53	それは会合で示していただくことが
0:41:57	全体的に進むポイントになる。
0:42:03	それで
0:42:06	楠の方は、
0:42:12	再処理の方なんですけど、
0:42:16	より一層わかんなくて、
0:42:19	最低限今MOXのスケジュールは入ってるじゃないですか。
0:42:24	いっぱい聞く。
0:42:27	再処理の方は1ヶ月先だからと思って、まだ入れてないような雰囲気もありつつ、これ入れて、
0:42:35	るっていう認識なん。
0:42:37	だとするとどこでどこまで確定できると。
0:42:42	人間。
0:42:44	そのスケジュール。
0:42:48	ちょっと
0:42:51	最後の週のところには入れられてないのは、
0:42:54	ずっと江藤
0:42:59	の移行処理はあるだろうと。
0:43:01	言ってるんですが、結構まだ、
0:43:04	日にちまでちょっと確定できておらず、入れられてないというのがあります。
0:43:07	そして、

0:43:10	提出させていただいてから、最初のヒアリングが 27 日というふうにさせて いただいておりますが、
0:43:18	27、その次の週にさせていただいて、
0:43:22	最低でもですね、代表の考え方については、
0:43:29	合意してあげれば、
0:43:30	僕は最低限、
0:43:34	同意しないといけないレベルかなというふうに思って、さらにそこから先 の、
0:43:39	設備の説明といったところ、どこまで踏み込めるかといったところを、
0:43:45	3 月、
0:43:47	最後まで、
0:43:48	これだけ読みたいっていうのは、うん。規模では、コサクでそれが全くス ケジュール感がわかんないですよ。
0:43:56	ちなみに 3 月の会合 22 日目途。
0:44:00	で、進めていただいています。
0:44:05	はい。はい。
0:44:09	はい。だとすると今の佐伯小に書いてある週はその前の週。
0:44:14	ですよ。
0:44:16	そういうことをここで大体のアイテムでそろってるってことですね。
0:44:21	そうしない。
0:44:23	ね、その計画が立てられてないっていうこと自体はありえない。
0:44:28	で、先ほどの MOX の話もそうですけど、
0:44:32	どれぐらいのステップで、
0:44:34	ステップが置けるかなあというのがあり、
0:44:37	到達目標があり、
0:44:40	そこに向かって、この段階ではここまで、
0:44:44	やらないと、この回数ってのは間に合わない。
0:44:47	いう話があって、
0:44:50	できないんだっただけできないで、
0:44:53	目標をこのぐらいにセットして、
0:44:56	やる必要があるのではないかと、
0:44:59	2 ポツの方で、4 月もって書いてあるんであればなおのこと、
0:45:04	3 月のステップはここまでイシイは、
0:45:08	いう絵は、今日の時点で書いてないと。
0:45:13	このヒアリングの意味がないんです。
0:45:19	こちらちょっと 2 回に分けて書いてる。
0:45:22	2 回の

0:45:27	ヒアリングのため、
0:45:30	うん。
0:45:37	その辺は、
0:45:41	次回、
0:45:48	元ハセガワです。
0:45:50	よろしいですか。
0:45:51	スケジュールの中にちょっと落とし来れてないなと思うんですが、
0:45:56	我々考えてその3月の、
0:45:58	モールという意味では、先ほど申した一つ目が、代表の考え方。
0:46:03	二つ目が、代表に選んだ機器をですね、どこまで行けるかわかんないんですけども、一通り説明して、あるところこれは、これはもうちょっと説追加の説明が必要だねというような、
0:46:16	少し中身に入るとというのが二つ目の、
0:46:19	フォルダの設定で今、我々の目標として置いてます。
0:46:23	その上で、代表の説明はですね今このスケジュール上、16日の
0:46:30	資料提出のところに、共通12グループ1、資料1から3っていうのはありまして、
0:46:37	本日の代表の説明の1回目をキックオフしたいなというのが書けてないんですが、
0:46:44	思ったところなんです。
0:46:45	で、
0:46:46	その上で、ヒアリングを27、それから3月5日と週1ペースで会合に向かっていくのかなとちょっと思っていますね、ちょっと3月、
0:46:59	ごめんなさい。大体、
0:47:03	聞きたかったことの、
0:47:05	取っかかりはお話しいただけたんですけど、
0:47:10	それがあってなさそうだなと思うから、心配して聞いていますね。
0:47:14	今のゴールの設定だと、代表の議論がセットでき、機器を抽出し、その抽出が考え方になっているということが、
0:47:24	共有でき、
0:47:25	それで資料の作り込みができ、
0:47:29	というプロセスがないといけないんですけど、そんな、今、
0:47:34	スケジュールの入れ方になってないじゃないかということなんです。
0:47:37	はい。
0:47:38	どっちでいくんですか。
0:47:43	私で、私が言った方で、
0:47:47	方で、ちょっとこのスケジュールを1回組み直してきます。

0:47:51	3月に、代表まで抽出をして入れ資料作って入れ込むと。
0:47:57	というのが自由表示方針
0:48:00	それを全部認められるかどうか別の話で全部ナカムラ作業になる。
0:48:07	アノ君つけて申し訳ないけど、
0:48:09	昨日提出資料とか見ても、
0:48:12	とても
0:48:13	代表性の考えを理解してやってるふうに見えないし、
0:48:20	外ごとく、
0:48:22	いや、これ、別にこれ説明してもいいけど、
0:48:25	これはこれはこれはって、
0:48:27	いう形に、
0:48:30	本当こっちやっとならばそれで済んだ。
0:48:33	ていうのがいっぱいあるような、
0:48:35	気がしてます。そういうことですか。ちょっとあれですねわかりました。ベースがちょっと。
0:48:41	まだそこは確証も取らずに、し3月の会合で一式出しますっていうのを、
0:48:48	よくいえるなと私が作業者だったら、
0:48:52	整理してくれて、すぐに文句言いますけど、
0:48:56	フクヤマ元さしてって思います。
0:49:01	現実わかりました。ちょっともう1回、実態も踏まえて、ちょっとスケジュールを入れ直しますかね。はい。
0:49:08	はい。
0:49:10	なので
0:49:11	サクシオンじゃないですけど、
0:49:14	あまり無駄な作業をしないでしっかりとやっていって、
0:49:20	まとめてやっていけたなど、原燃各社員が、
0:49:24	思える状況にしたいのであれば、
0:49:27	代表性の考え方ってのはもう今日にでも出して、週明けにでも議論して、
0:49:32	リバイスして、来週中に、
0:49:37	考えが少なくても、
0:49:39	理解して抽出数も幾つか例をとって、こんな感じですよ。
0:49:46	名で話を、なかなかまとまる
0:49:48	出るように、
0:49:49	論点になりそうなところは潰し込んでおいて、
0:49:53	全体の代表性っていうのは、しっかり取って、次。



0:49:58	ミツイ。
0:50:00	にしっかり出してて、
0:50:02	それで多少の漏れがある部分は会合でこれもってという話でもいいと思うんですけど、
0:50:08	そういう工程をですねしっかりと組むというのがやっぱりSteeringチーム、
0:50:21	竹田菅沢代表の話からしっかりやらしてもらおうということで、はい。
0:50:25	スケジュール。
0:50:26	いきます。ありがとうございます。
0:50:29	ちょっと一番大きい話だったので、代表性って話しましたけど、それ以外にもいろいろとコメントあったと思うんで、もうそれらについては、
0:50:38	三つ目の議題ですかね。はい。の方で話をした方がいいかな。
0:50:43	今のところは控えてと。
0:50:46	いうことにしておきたい。
0:50:51	大枠でとりあえず私の方から話しましたが、ここ、
0:50:57	確認したいことがあれば、
0:50:58	轟土肥。
0:51:03	首藤 セキグチ。
0:51:05	規制庁。
0:51:07	ボックスの話は、
0:51:12	条線 2 月の最後で、
0:51:14	何らか話をして、
0:51:18	で、
0:51:19	昨日出てきた資料は、2 月に話をしたいことが、
0:51:25	書かれてるかっていうと、宗田、
0:51:29	へえ。
0:51:32	1 月 24 日に、ヒアリングしていった時の宿題にもちゃんとまざってきつつある。
0:51:41	なんで、
0:51:45	改めて、
0:51:46	会合で何を話すと。
0:51:50	根井、来週の水曜日、
0:51:53	14 日、はい。
0:51:56	現場で、そこで話を聞かなきゃいけない。
0:52:00	そのあと、
0:52:02	逆に 15 日や、やる意味もあまりないんで、はい。
0:52:07	14 日イヌマキが出てきて、資料 1 を積んでおいて、

0:52:11	とは言いつつしっかり話を、ほとんどことになっちゃってますけど
0:52:16	しっかり話をしてもらい、そういうことを
0:52:19	会合で話をしましょうという話があり、
0:52:23	それが、2月の19日月曜日の会合資料には、
0:52:30	入ってくるというイメージでいいんですか。何でしょう。それならば、
0:52:36	はい。
0:52:37	はい。
0:52:38	はい、仙石です。わかりました。じゃあ、とりあえずなんすよ。
0:52:41	すいません。お願いします。
0:52:54	ちょっと、
0:52:55	補足です。
0:53:00	ミヨシ、
0:53:01	その話って、スギタともう来週水曜日、
0:53:06	コサクですちょっと
0:53:09	心配しているのは、昨日の状況で、やっぱり体制が不明確なのが非常に良くない。
0:53:18	んだと思うんですよ。
0:53:21	一応その聞いている状況だと、MOXの話だからイシハラさんがSteering チーム、
0:53:28	出たよってということですけど、
0:53:30	耐震ということで野本さん。
0:53:34	全体としては、再処理と、
0:53:37	一体となってやっていくって意味では見ている。
0:53:40	いただかないと。
0:53:42	こちらとしては思ってますし、
0:53:48	大きな論点という意味では、
0:53:51	決得さん。
0:53:56	ようなところも、
0:53:58	全体進捗管理になります。全体の組織運営として、
0:54:03	見方っていうのは知ってもらう。
0:54:05	かなと思うんですけど。
0:54:07	現時点でどうするつもり。
0:54:12	14、今までちょっと十分できてなかったっていうのはちょっと
0:54:17	反省はした上で流4日からはですね今おっしゃったように、当然大事な アシダノモトも参画、東電はさしていただいて、データ出しデータ持つて るボックスの方でいろいろデータ持つてるので、

0:54:30	それを元の方も事前にちょっと確認して14日は、口頭になる部分が多いんですけれども、答えれる。
0:54:38	状況で臨んでやらないといけないとそこにちょっとイシカワハセガワ私の同感でいくかというのは、ちょっとこれからちゃんと整理して、お話ししないといけないなと思っておりますちょっと。
0:54:50	まずはノモト入れるってのは確定はしておりますけど、ちょっとその次のステップをまた、
0:54:56	しないといけないというふうに意識を持ちました。
0:54:59	コサクです。野本さんは、
0:55:02	もともと前からそういう話をしていて、なので、よく見てはいただいているから
0:55:09	昨日も発言されない。
0:55:12	いうことだと思うんですけど。
0:55:14	先ほど言ったSteeringチームとしては、個別のデータ云々とかじゃなくてですね、
0:55:20	大枠の考えとして、抜けがないのかとか、
0:55:24	方向性としてずれてませんかとかかっていうのをしっかりと見て、是正を図ると。
0:55:31	ということなんで、
0:55:35	何でこうしてんの。うん。それで大す根拠をつくれてるとかっていうのを、
0:55:40	漏れを気づいて、話をする。
0:55:44	ということですから、気づくにはなある程度見ないといけないっていうのはあると思うんですけど。
0:55:52	本当に、
0:55:52	ぜひよろしく願いますというのはやっていただけると。
0:55:57	でいいとして、
0:55:59	それ以上に作業部隊、或いはその富士電機の担当者なり、
0:56:06	或いは機機能ワダであった三井造船の元データ、
0:56:11	対応上、対応方針なり、
0:56:14	いろいろマネジするべきことが、
0:56:17	多いと思う。
0:56:19	ですよ。
0:56:21	その辺り有井は、
0:56:25	やはり
0:56:28	ケットクさんなり、
0:56:30	松坂さん、柴さんなり、
0:56:32	対応、

0:56:33	C、
0:56:35	D、
0:56:37	原燃内イトウ様のあんまりわかってなさそうなので、
0:56:40	誰がわかっていて、
0:56:43	あれをわかってないからどう手当をしてわからせるかなり、
0:56:48	そのあたりの手当、
0:56:50	当然ちょっとイトウの受け答えが悪い、1キロかもしれないけど、ちょっとわかっておりましたってちょっとそこも大きいのをちょっと反省会開いて、やり方等どう、どうすべきだったのかやっております、
0:57:03	当然次回の14日にもちょっとイトウを出してですね、その日、
0:57:07	動線の試験データなんかをちゃんとお話とか説明ができるように、
0:57:13	というのは、対応しております。ただ、今おっしゃっていただいたようにちょっと、この案件もですね
0:57:19	地盤ほどちょっと大変だからというもまた別か。少し違うかもしれませんがちょっと大きな事案だという認識を持っておりますので、ちょっと私ハセガワちょっと、
0:57:30	どちらが見ればいいのか。当然、大きなマネジメント人の手配ってというのは、必要になってきますので、ちょっと私、
0:57:37	が発言したいと思っております。
0:57:40	はい。
0:57:41	よろしくお願いします。それで、14日で、
0:57:45	研究するようなら、それがそのまま、
0:57:48	最後に出てきますので、
0:57:51	よろしくお願いします。
0:57:58	伊藤さん勉強してるっていいんですけど、説明できるっていいのは、説明って何っていいことで、
0:58:06	勉強したことが話ができるっていい、
0:58:09	のは、
0:58:10	説明になってなくてですね、よくある横流しの説明。
0:58:16	突っ込まれると、
0:58:17	何でそれやってんのっていいと、答えられないっていいのは、今日の朝の会議でもちょっと私から言ったんですけども、我々はもう常に我々のやったことを説明するばかりになってると。
0:58:28	それではあかんと、これ何回も言ってるけど、要は、設工認で、要は何を説明が求められてるか、どう説明したら、その接合人の

0:58:39	基準にちゃんと移行してることを説明できるのかがいいか、言い方すれば規制庁さんが何を説明求めているのか、ちゃんと理解して説明しないと、この独りよがりの説明は説明になってないと。
0:58:51	いうのを今日もちょっと、皆の前で話したんですけども、その点が十分まだ徹底できてないというところですので、Steeringがですねすみません反省事項でもあるんですけどノモトもそうなんですけど、
0:59:02	ついつい入ってしまうと車に入ってしまうところがあるかと思えますんでそこをちゃんと、一方、高所から見て要は、目的に合致した説明になってるかっていうところがポイントだと。
0:59:14	毎回言われてるすみません、毎回言われてます。これ何回も何回も徹底してSteeringが機能する。
0:59:20	いうところは、やっていきたいと思います。以上です。
0:59:24	はい。
0:59:26	そういうポイントをですねSteeringチームがまず社内で聞くんですね。
0:59:32	先ほどもちゃんと整理してください。
0:59:36	聞いて、
0:59:38	検討して、一緒になって検討して、
0:59:41	答えができるように作り込んでいるのであれば、ヒアリングは当然しゃべれますし、
0:59:48	その下サポートなり何なりの人で、
0:59:51	あってもしゃべれるようになってるはずなんですよ。
0:59:56	なっていないというのは結局Steeringを突っ込んでないからでしょっていう感じがしてですね。
1:00:02	役目を果たしていないということにもなっちゃって、
1:00:07	昨年の会合で私がある程度だって言ったのは嘘だったのかっていう。
1:00:13	ことになるぐらい今ちょっとひどいので、
1:00:17	しっかりと対応お願いします。
1:00:24	また話しとった感じ。
1:00:28	代表、すみません。
1:00:32	じゃあ、とりあえず次の話になっちゃったほうがいい。
1:00:35	です。
1:00:36	そんなに。
1:00:40	規制庁オカですちょっと説明されてない部分で確認したところだったんですが、
1:00:47	説明グループ呉1のボックスの評価の、ヒアリングを行った結果の打ち直しの間に会合資料が出てくるんですが、

1:00:57	そこら辺のその介護資料での
1:01:01	考えというかは、もう定まっていますか。
1:01:06	イメージでございます。今言われているのはスケジュールでいくと7ページで、あれですかね、15日に資料提出のあるやつの前に、
1:01:17	審査会合資料が入ってるっていうところですか。
1:01:20	19日に審査の朝一で、提出する介護資料の案とかは、大体もうできてそこにバー後、21日のヒアリングを踏まえた、
1:01:34	ようなシナリオ的なところだと思うんですがそういったところはもう検討されていますか。
1:01:43	日本原燃石原でございます19日にお出しするのの、評価パターン(1)(2)の呉と、
1:01:53	説明シナリオは、
1:01:55	正直すいませんはCのところで作業するのはおそらく今週末、
1:02:00	になる感じです。その中で、15日に出す資料の、前回、昨日やったヒアリングでの打ち返しなる部分のシナリオも含めて、
1:02:12	整理をするということで考えてます。
1:02:16	はい、わかりました。規制庁からです。ちょっとその次が気になってて、ここの評価が大体落ち着いてきて耐震側の評価は評価パターン3は残るんですが、
1:02:28	そのあと再処理の説明グループ1は、少し、今日も議論されたんですが、MOXの説明グループ2とかはどうなってますか。
1:02:41	はい。与儀ニシダでございます。
1:02:44	はい。説明グループMOXの説明グループの構造ですね、これも
1:02:52	正直少なくとも評価パターン(1)カッコ2の鷺見具合というのも見ながら、作業は当然ながら講師もやっています。作らせてチェックも並行してやっていますんで、
1:03:07	今のスケジュールの中の、3月の
1:03:12	ところにはですね、構造設計の説明グループ、
1:03:16	ミイが入るような形で進められるようにしたいと思ってますただ全部追っかけてどれも一つも駄目だっていう、そこも含めて状況を判断したいと思って今、現状入れてません。
1:03:29	はい、規制庁ですわかりました。だから、今の評価パターンが落ち着いてきたこの再処理の方が、少しまたかかるかもしれないとかそういう優先度とかを考えた上で、
1:03:41	モック数の説明グループに、
1:03:44	頭のアノコウ後で、
1:03:46	はい。やるもはい決めていくっていうことですかね。

1:03:51	5 ページ目いつもつけていただくんですけど、これを、本当にこの通り進んでますか。
1:04:01	相変わらず直せなくて恐縮でございます。この通り進んでますかというのが、
1:04:06	はい。
1:04:10	少なくとも、とはいえですね。
1:04:14	あれですね、
1:04:18	資金で言えば、最初に廃棄物の説明グループ 1 と MOX の説明グループの構造のところで、外傷がかぶってる部分があるところをどう説明していくのかと。
1:04:29	いうところが、資料の提出、ヒアリングのタイミングと、今マッチしてないっていうのは認識をしますので、そういうところの進め方も含めて全体見て、
1:04:40	どうやってやるか、スケジュール的にはどうなるのかっていうところはお示ししないとけないと思ってます。はい。
1:04:47	今おっしゃっていただいたようなその優先度とかの考え方も、徐々にここに反映していただいて、どういうふうに今後進めていくのかっていうところをここでも見れるようにしていただければと思って、コメントでした。以上です。
1:05:03	補足です。
1:05:06	focusに行っていたいただいた通りなんですけどそれって、前回も前々回も言ってるじゃないですか。
1:05:12	いうことで、
1:05:13	ササキ進期がないんだったらそう、次回会合でいただければ、ゆっくりと4 月から待ちますけど、
1:05:21	聞いてもいいですかね。
1:05:25	こういって、
1:05:27	別に、
1:05:29	イシハラさんなり何なり悩まなくてもケットクさんで引けると思うんですけど、
1:05:33	私書けますよ。
1:05:40	5 ページの李%DIVISIONという全体の戦略等、このすべての資料、町ヒグチとかさぼってる所、
1:05:48	しましたので、
1:05:49	該当していきたいと思えます。うん。欠席でした。はい。はい。
1:05:55	蘇武です。ここの資料の作り込みに手一杯になって、Steeringがやるべき仕事がおろそかになってるっていう。

1:06:04	状態だと思うので、
1:06:06	そういうのを感じるのがケックさんの立場。
1:06:11	であり、
1:06:12	それができないときにはじゃあどういふうに、誰に何をやらせれば全体が回っていくのかと。
1:06:19	いうことを考えてもらわないと、上流が駄目なら、うん。
1:06:23	止まるしかないっていう。
1:06:25	ことだと思う。
1:06:32	これも前回言いましたけど、溢水、
1:06:36	どういふうに入れてく。
1:06:39	いうところで
1:06:43	もう宿題返しはしていかないといけないでしょっていう話をしてたと。
1:06:50	ですよ。
1:06:52	それはまだスケジュール、
1:06:56	はい。
1:06:59	人間の説明でございます。はい。
1:07:02	現時点で、
1:07:04	取ってないというのが現状。
1:07:06	で、個別説明としてこれまでやってもらいたい。
1:07:11	書かないといけないということは、
1:07:16	女性の御説明設計、
1:07:18	原燃としての設計の患者さん。
1:07:21	そういうところを、
1:07:23	何を示せるか。
1:07:26	スケジュール落とし込めたら、
1:07:29	押し込みさせて、
1:07:31	現時点ではまだ前回のヒアリングでもあった通り、少し原燃としての設計、
1:07:37	その考え方というところを、
1:07:38	きちんと示すようにという形で一つ。
1:07:43	まあ、なかなかちょっと苦戦してる場所もありますので、それも踏まえて、
1:07:51	古作です。苦戦してるなら苦戦してる、胸を占め、
1:07:56	してください。はい。
1:07:59	うん。
1:08:00	潜ってる段階。
1:08:02	D、D。



1:08:03	言われたら全然違うことやってましたって、こちらのコメントが遅いから ですなんて言われたら、たまったもんじゃない
1:08:12	指摘をしてあるわけですから、その対応方針で悩みがあつてそもそも指 摘がわからんみたいなことであれば、
1:08:19	言っていただければいい。
1:08:22	進捗管理をしっかりとするようにしてください。
1:08:33	えっと、一応、
1:08:36	その点で5ページまでの約束事項とすると、3月には、この具体的な、
1:08:44	横軸の多少なりとも時系列を、
1:08:49	我々に対しては、
1:08:52	示していただくという、
1:08:55	だったかと。
1:08:58	ですけど、
1:09:03	現状だとまだ
1:09:05	時間がかかるまでもないステップもかけてないっていう感じになってるか ら、
1:09:13	今言ったその宿題になってるようなところと、刈り取っていくのかみたい な。
1:09:19	ところなんかは最低限しっかりと明確にして、三角書いてない。
1:09:23	C、
1:09:27	うん。
1:09:28	関連するものっていうのも、相変わらずかけてない。
1:09:33	で、
1:09:35	中、その次のページで書いてるやつ。
1:09:38	ページ側に反映すれば、
1:09:40	ね。
1:09:44	という辺りの差とか、
1:09:50	ことで、
1:09:51	ここはあれですかね。
1:09:53	Ⅲって、
1:09:55	だと思いますちょっとここもハタケイシハラにちょっと令和ずらして、
1:10:01	じゃなくても当然かけるおっしゃる通りです。ちょっと。
1:10:05	深江。
1:10:06	ちゃんと。
1:10:07	平準化、Lstないです平準化も図りながら、うん、そうだと。
1:10:13	はい。書きながら、各担当4名いらっしやって、その人たちがそれならい けますっていえるような、

1:10:23	或いは、それでやるぞと。
1:10:26	そして
1:10:28	フクイに主事ができると。
1:10:35	よろしいですか。
1:10:38	じゃ、次。
1:10:41	はい。
1:10:46	いやもういいかもしれん。
1:10:50	5と6 一体で、少し
1:10:52	回答が必要な人間。
1:10:55	ニッタイデシライ課長が必要と認識。
1:11:01	進め方は一通り、そうですね、最後スケジュール。
1:11:13	一旦振り返ります。
1:11:18	はい。
1:11:20	まずどこ。
1:11:21	平木さん、先祖返り。
1:11:29	はい。あと審査会合の進め方のところは、まず、臼井の
1:11:35	評価は、まず3月DOI。
1:11:39	2月3月、
1:11:43	いうことの合意をちゃんと
1:11:46	まずあのときの2月の末の会合でどこまでやる。
1:11:51	14日でも議論しないとイケないし、19日出す審査会合終了。
1:11:58	進みます。はい。
1:12:02	はい。
1:12:12	納品。
1:12:20	時間、
1:12:43	地盤関係でございます。今お示ししている、
1:12:51	議会、議会介護次回会合までの予定のうちですね3月末のご説明事項として、基本モデルの設計適用の考え方の
1:13:04	考え方の部分も入れるということで、この場でくみ取らせていただいたと、いうふうに思っております。
1:13:13	で、それからですね、この2月14日の資料提出でございますけど、これ、朝早い
1:13:22	お出しすると。
1:13:24	ということでやっておったところでございます。
1:13:26	この15日の日の時にはアノタテも08ですね、このアイテム呉の
1:13:34	が0畠埜どこに入っていて、どこに出せるかといったところをこれ部屋の中でご説明して、ご意見を取らせていただくと。

1:13:44	いうこととお約束差し上げたというふうに思っています。
1:13:48	以上でございます。
1:13:52	そうです。沼尾さんはちょっと危険な顔されてましたけど、溢水グループ、最初にグループ2の溢水の方も、
1:14:00	ステップをちゃんと明確にして対応いただきたいと思います。
1:14:07	オオキスズキ
1:14:08	と時間は、
1:14:11	どん何のデータを逸脱っていう。
1:14:14	はい。
1:14:18	はい。入力地震
1:14:20	から、
1:14:23	ぐらいの建屋、
1:14:30	麻生
1:14:36	規制庁側から、
1:14:40	補足です。すいません。次の、
1:14:43	次、次の議題なんですけど、午後にも時間をと。
1:14:48	ているので、ちょっと午前中に全体ざっと。
1:14:52	なめつつ、午後に何をやるかみたいなことを、
1:14:56	クリアするように、
1:14:58	残りあと45分しかないので、やらせていただきたいと思うんですけどいいですか。
1:15:03	はい、じゃあ、
1:15:06	はい。
1:15:08	TSLの話。
1:15:10	一緒やと。
1:15:15	変な、
1:15:19	いう話になります。
1:15:21	ESAの安定国家8条の竜巻と36条をセットで、
1:15:28	できました。修正をしながら作業を進めてますけど
1:15:35	作業とか、そういった36条からは、まず、どういう設計が36条の要求として展開すべきなのか、それが8条の例えばどこを竜巻であればどこ のところに飛ばすのか、なぜそこに、
1:15:48	続けるのかということ、丁寧に記載をしながら、展開をしていくと。
1:15:53	いうこと。
1:15:54	をやっているということでございます。
1:15:58	8条が前回SAからもらった要求が紐解いたときにですね、何を受けているのかというのがわかるように、展開をしていくということ。

1:16:11	なんです、今、現状はまだ
1:16:16	悩んだってというか、本当にこれでいいのかなってところは、幾つかあります。それは、竜巻以外の火山とかを結びつけたときに、火山が結局静的荷重、
1:16:28	継続腐食だとかっていっぱいあるんですけど、それを結局設計を八条に預けたらフィルターつけるって回答に1個なんですけど、とはいえそれを合体してしまうと何を売ってるかわからないので、
1:16:39	今は愚直に簿の36度全部分けて、
1:16:43	これは、そこに対する設計ですそれは腐食に対する設計ですけど、そのままカガワに紐づけようと。
1:16:50	ここでやっています。
1:16:52	なので、すいませんアノタテ幅がかなり広くなるっていうのはありますけど、そこはあまり変わらず、
1:17:02	です。
1:17:04	前回になり、
1:17:06	今、
1:17:08	今、悩んで、
1:17:21	後ちょっとや、
1:17:23	作業さしてもらって、もともとどうしようかと悩みながらやる。
1:17:28	ちょっと失敗してるなと思ったのが16ページのところで、
1:17:32	前回アクセスルートはどうしようかという話になって、
1:17:38	結局屋外のアクセスルートは、そのアクセスルートを阻害する要因との関係で、DBの竜巻でいけば、猛影響とか見てるものとリンクするよねということでそこに紐付けました。
1:17:50	今、
1:17:51	本当の
1:17:52	コウは、やってもらって、作業者はそのつもりでやって16ページのところでアクセスルートっていう二つ、
1:18:00	金利が屋外と屋内のアクセスルートがあるんですけど、下から4番目が屋外のアクセスルート、下から3番目が屋内のアクセスルートなんですけど、両方とも波及液滴影響には結びつけているんです。でも、
1:18:14	私的には、屋外は確かに
1:18:18	耐震も含めて、はっきり言うと倒れてこないよね、阻害しないよねっていうことで見んですけど、結局屋内のアクセスルートっていうと、建屋で頑張るよねっていうところが一部入ってくるとなると、本当にここに結びつけたほうがいいのか。

1:18:33	防護対象を収納する建屋の構造強度を確保しますみたいな設計に結びつけたほうがいいのかどっちがいいのか。
1:18:40	ちょっと悩んでいるところでは、現状はこの波及影響に今、屋外も屋内もアクセスルートを全部まとめて盛り込んでいるのが状況。
1:18:49	見る姿勢をどうするかだと思う。
1:18:53	はい。
1:18:55	ちょっとすみません、忘れちゃいけない。今の話を確認させてもらいたい。
1:19:01	僕のやつセスルートって溢水でも話題にしまして、見えました。はい。
1:19:06	D、Dにありませんっては言ってたんだけど、そうではなくて避難通路RCと、
1:19:14	作業性もあるしってということで、
1:19:18	ちゃんと認識をしましたということになってたような気はするんですけど。
1:19:24	それってどういう枠に、
1:19:27	ここの関係でどう整理をするというか、っていうことをお話をしたくて、
1:19:35	なので、あれ。
1:19:37	昨日でしたっけ。蒸気影響、そういうこと。
1:19:41	にも、溢水セットにしないとねって話を、
1:19:45	そうしていったんです。
1:19:48	合わせているようなグループの話がないとちょっとご説明できないのでってことで認識してますよね。はい。
1:20:00	その整理を踏まえてちゃんと議論した方がいいと思うんですけど。
1:20:03	今の聞いた限りにおいての印象でお話すると、
1:20:07	一旦ここでもいいんじゃないかな、でその波及影響っていう時の影響ノモトが、その作業性だったり避難だったり、
1:20:19	すると、それもDBだったらいいですよ。
1:20:21	するってということかなと思うので、ここからまたDB内でもかもしれないですけど、飛んでいくっていう、
1:20:29	どうかなって気はします。
1:20:32	ちょっと合わせた上で、構成するのが
1:20:36	最終的な説明ポイントとしてクリアになる。
1:20:43	すいません。はい、伊佐鎌田、あともう1、
1:20:50	27ページは36条になりますけど、前も前々回にもし聞いてたのは、14番のやつで、
1:21:01	多様性地域、独立性的分散って、複数の要求があって、今、
1:21:06	独立性の話がクノ駅配管の一番上でこれが

1:21:13	DBの系統との関係の独立性の話もあるので、グループさんに降りますという、
1:21:19	その多様性独立定期的分散の位置的分散の話その次のところの、
1:21:25	1セキ分散を図るってところは、
1:21:28	屋内設備だったり屋外設備の
1:21:32	機能確保の人らの一つだということで、DB側の竜巻に飛ばして銀行を図る。
1:21:38	ということで、そのページの一番下が多様性だとか、
1:21:43	お話でこちらも結局、
1:21:46	金構造設計ですね設備の構造設計し、システムの多様性が図れているってということからすると、
1:21:54	説明グループさんでのSA側で合わせてやる。
1:21:58	必要があるんじゃないかということでグループ3飛ばしてると。
1:22:01	ということでここで結構同じ要求事項から、
1:22:04	いろんな説明グループに飛んでいくっていう、
1:22:07	ことになるところが、
1:22:11	要求からするとこうだろうと思って作業してるんですけど、結局全体枠全部わからないっていうところが、若干ちょっと、
1:22:18	不安はありますね。本当にいいのかなっていうところがある。
1:22:24	悩みっていうのは、
1:22:29	はい。
1:22:30	じゃあ、内村さんから一つ一つは、ひとつごめんなさい、一つ一つやると時間かかるので午後って言っているの、ここに話したいポイントみたいなところの大枠を話をさせていただいて、はい。
1:22:45	その趣旨が理解をしていただけるとここにこういう話になるかなっていう、頭の体操、午後1に、社内でするんじゃないかなと。
1:22:55	藤間さんよろしい。
1:22:57	はい。規制庁の藤原です。午後に細かい部分とかは午後になってということで大枠のところなんですけど、まず資料見てみつつう気になっているところがポイントとしてあって、
1:23:10	今までのやりとりを踏まえた作業が、ベースとしてできてるのかがまず、前回から言ってるところで、それができてないんじゃないかなと思うところがあって、これはこれまで、
1:23:22	なのでここに、
1:23:24	やっていけばいいかなと思ってます。
1:23:26	あと、
1:23:28	二つのうちのもう一つが、展開する場所がここでいいのか。

1:23:33	ていうところ、今 14 番とかいらっしやいましたけどここで本当にいろんなところに振るのがいいのか、もう 1 個次のところに展開してからとか、そういうその展開の関係性を踏まえてどう、
1:23:46	展開していくのが本当にいいのっていうところが、一つポイントになっていて、あと三つ目は一番重要な、そのDBとの紐づけて本当にこの番号いいのっていう考え方。
1:23:58	そこは結構ふわふわしてるような気がしている部分が、やっぱり幾つか見受けられていて、そこら辺はちゃんとしないと、それこそ他の事象とかに展開したときに、
1:24:08	江藤、どんどん
1:24:10	交通整理が難しくなってくる気がするので、
1:24:13	その分で午前中は展開していくところをここでいいのかみたいなところとDBの絵と紐付けの整理の大枠の、
1:24:23	ところなんかを少し話せばいいのかなと思っています。
1:24:28	先ほど出てきた 14 番なんかで言うと、
1:24:33	意見の整理だと、ここからのもう 1 回展開があったはずなんです。それで、1 セキはサノ方はそこからの展開がないのでここで展開します。
1:24:42	なのでそれは理解できるかなみたいな話になってたんですが、今回その多様性とか独立性の部分をここでも展開されているっていうところがあって、本当にここでいいのかなっていったところは、
1:24:54	あとで紐づくひもづけられて受け取る方が本当になくて、ここでしか展開できませんなのか。
1:25:01	いったところがまずあります。
1:25:04	そこに清木を、この、例えば 14 番でいうとどう。
1:25:09	ありますか。根岸でございます。今おっしゃっていただいたことに私の理解でいくと、大体、多様性特定のずさんっていう、多分組み合わせも含めて多分設計としては実現しようと思ってるのに、
1:25:25	これを引き離したことによって、もともと達成しようとしてることが本当に達成できてるかどうかっていうのが、
1:25:31	よくわかんなくなっちゃってるっていう。
1:25:34	懸念があるのかなっていう認識をしました。そういう意味でいくと、おっしゃる通り距離、一旦その、その全体の組み合わせでやろうとしてるオオモトの設計方針を、
1:25:45	八条なる 80 人分、
1:25:47	で、
1:25:48	組み合わせなのかちょっと 36 条の中で、組み合わせのやつを、
1:25:52	でもいきなり振り分けたらOKなんです。

1:25:56	設計をこういう組み合わせで設計を達成するんです。その中の、
1:26:04	得策です。
1:26:07	先ほどフジワラが3点と言われたうちの2番目のどこでどう展開していくのかにも関係すると思うんですけど、この14番って一番入りやすいですね。
1:26:19	これって、そもそも36条で分解してませんでした。それぞれの相互関係ってわかるようになってます。
1:26:26	日本円、
1:26:29	ブースでいくと、14番が確かに常設のリード文になって、
1:26:39	30ページ。
1:26:40	16番以降が、順番に、このビードからその限界で、僕の話で、
1:26:47	それが冒頭宣言でやり合っていて、その前の冒頭宣言は、俺がやるって言っててって、何か変じゃないですか。
1:26:56	はい。
1:26:57	おっしゃってる意味は理解しました。ここの関係性をちゃんと取り理解をして整理しないと、
1:27:03	本来のものが飛んでないということで、
1:27:06	はい。
1:27:07	出向というかですね、14番が混乱して、うん、14番のその冒頭宣言で一生懸命やろうとするからこうなっちゃってもともと整理したでしょっていうのを、
1:27:17	をないがしろにしちゃってるんですよ。もう1回あの許可からやり直してると感じ。
1:27:23	管理官が言う局からやりましたということじゃなくて、許可で約束したことを踏まえてであって、
1:27:30	最新許可申請してくれていうことじゃないので、そこはしっかりと、
1:27:36	それを踏まえてやってもらうと、
1:27:40	そこが見えてくると、多分これ今の設計項目の考え方説明グループの考え方で書いてることが、
1:27:48	非常に唐突なんですよね。
1:27:52	一応これ唐突じゃなくて、左の基本設計方針見ればこういう関係だったんですよ。わかる。
1:27:58	或いはそのあれ関連してたよねって思えば、親元。
1:28:02	何々を受けた設計って書いてあるからそっち見ていくと、こことこの関係がそういえばあったね。
1:28:09	いやだから、ここでこの部分だけ引っ張って見れるようになります。
1:28:13	ということだったはずなので、



1:28:17	その所、先ほどの1番目っていうのも、うまくできてないからそれもスミエないっていうことになるっていうので、三つ論点はあるものの、
1:28:27	それぞれが関連して結局見えなくなってる、混乱してる、やり方がちょっとずれちゃってるっていう。
1:28:33	ことになってるんで、その点、こうやればいいんだねってのは僕OSCA AR一つ一つ潰してもらいます。
1:28:43	延長のフジワラです。
1:28:45	まずそういう冒頭制限からの部分があり、
1:28:51	勝衛藤。
1:28:53	同じ冒頭政権ではあるものの、45%なあ。
1:28:57	前回にも、45と46と50の展開でどうなってるのって話をしたと思います。
1:29:03	45番なんかはページ数でいうと30ページぐらいにわかった。
1:29:08	応答宣言でなぜこんなに意見が出ちゃったのっていうところ。
1:29:13	方針が、この前の、それこそおとつい、
1:29:17	ヒアリングでも少し議論になったとされていて基本設計方針にどこまで、
1:29:24	なんていうのが、
1:29:25	実は読み取りにくくて、
1:29:29	みたいな、まず
1:29:30	それが発生して外部事象とかが、
1:29:32	綺麗に明示的になってないで、なのでここで展開しようかなと思っていたのかなと思うんですけど。
1:29:39	整理資料を細かく見ていくと、
1:29:43	共通要因故障と悪影響防止と、あと環境条件って結構密接に関わっていて、
1:29:49	結構環境条件の方に振ってるというか、ゆだねてる。
1:29:53	で、大半。
1:29:55	共同しても、そっちにゆだねてる整理になってるはずなんで、ただそれが、基本設計方針として読めない、読みづらいから、多分こんなふうに展開しちゃったのかなあとっていて、
1:30:05	であれば、今後、その基本設計方針どこまで書くのがいいのかみたいな議論が生まれるかもしれないですけど、ここでほんとに4ちゅうことなんで、すべての事象とかを展開する必要があるのか。
1:30:18	そうじゃなくてそれを環境条件に送って、条件の中で、健全性とか、
1:30:23	維持する。
1:30:25	悪さしませんっていう話で整理するのかみたいなのをすれば、

1:30:29	良いことはむしろスリムになって、本当に全部飛ばしていかなきゃいけない環境条件となってくるんじゃないかと思ってるんですけど、その辺の認識いかがですか。
1:30:40	水野でございます。多分、作成者も含めて、全体その認識があって、あった結果、タカキ型が今、91 番括弧 45 みたいに結局環境条件に預けてますみたいな。
1:30:53	112 番シンボって、結局 45 番を一生懸命ブレークしてる場合には、あっちと一緒に言ってる時点で、多分わかった上で、ただ、そこを 45 で一生懸命ブレークするってところが、
1:31:05	やっぱりフェンスがないということなのかもしれません。はい。そのもともとの考え方をちゃんと理解をして、結局、そこを、将来的には業績方針で明確にするのかもしれないですけど、
1:31:16	要は、やりたいことは環境条件でやってることで、具現化すれば、答えを見つけるんですけどいうところの紐づけをして、具体は土地に売っていうやり方。はい。ちょっと考えます。はい。
1:31:28	孫娘議論、はい。
1:31:30	そこです。
1:31:33	その通りかなと思うんですけどちょっと頭の整理だけしておく、
1:31:37	悪影響防止というのは、自分を守るではなくて、加害者、
1:31:44	にならないということで、環境条件の方は、被害者にならない。
1:31:52	いうこと。
1:31:53	なので、目的が違う。
1:31:56	いうこと。
1:31:58	ただ、その具現化をするのがアノし、
1:32:02	きっちりしたものにしますと、はい。
1:32:04	いう共通なことがあります、
1:32:08	きっちりしたもののシマスの手段はやっぱり
1:32:11	自分の機能は被害者にならない。
1:32:15	いうことの方がまずメインなので、そっち側に降りますと、
1:32:20	そうじゃないものっていうのは、加害者になり得るから、
1:32:27	そちらの方の悪影響防止としての説明が必要になってくる
1:32:31	ということで、メインはそうじゃないものっていうのはヒラノ受
1:32:36	自分の機能はいいけどっていうもの。
1:32:39	何がメインで、ただ、SAの場合は、代替措置、
1:32:44	済ます場合があるのでそれは自分はきっちりしなくてもいいんだけど、
1:32:49	いうものが出てくるから両面説明が必要になってくるよと。
1:32:53	ということだと思うので、不その仕分けをですね。

1:32:57	悪影響防止のところでしっかりと書けば、
1:33:01	何も一つ一つ説明しなくても、ポイントで、
1:33:05	例外規定みたいなもので、逆にそれを明確にするということで、なかなか書く必要がなくなるんじゃないかなと。
1:33:13	思いますので、やってる人もよく理解をしてると思います。はい。はい。見え方ってということだと思いますけど。はい。よろしく願い。
1:33:24	規制庁の藤原であって、D条文のさ、
1:33:27	おつきはそのアノ分割のポイントってそういったところかなと思っていて、
1:33:32	江藤D条文への紐づけの考え方なんですけど、
1:33:36	今話にも出てきた、大体、
1:33:39	措置とか、
1:33:41	そういったそのその子自身は壊れちゃうかもしれないけど、位置的分散とかもそうですけど、その者自身に健全性を持たせない時に振ってる先が、DB上部の健全性を有する方に行ってませんかっていう、
1:33:56	結構 19 番とかっていう数字をいっぱい見るんですよ。それって屋外のもので、自分自身が持ちこたえるか、もしくは竜巻防護で守って、絶対壊れませんか。
1:34:07	そこじゃなくて、だと思っているんですよ。なのでそういったものが結構多分にあって、
1:34:14	それはちょっと考え方がなんかずれたのは、機能維持という大きな枠で考え過ぎてる気がしていて、
1:34:21	古作です。それで言うと、またDBの方に行くと、
1:34:26	DBも同じ。
1:34:29	基準要求が安全機能を有する施設という大枠になって、安重じゃない。
1:34:35	ということからすると非安重の設計、
1:34:38	方針には入れてなきゃいけないって、
1:34:41	それに対する対処として大代替措置というか復旧措置というか、
1:34:46	いうものがあつたはずですけども、その認識でいいです。
1:34:53	すいません。
1:34:54	ただし書きの
1:34:56	大水害な電気、
1:35:01	ていうところをセガワさん認識してます。
1:35:08	はい。
1:35:09	これすいませんも言いますね。
1:35:21	意味ございます。

1:35:23	認識をしてハセガワハセガワです。聞こえますか。聞こえませんか。マイクの調子が悪くてすみません。認識はしております。はい。以上です。はい。
1:35:33	でやるとすると何でそ、そこをうまく使えなかったとかって何かあります。
1:35:43	あげたよね。
1:35:45	多分本当は2段ロケットで飛ばしたかったんだけど多分1段目で終わっちゃってんじゃない。
1:35:51	多分そう、もしくは、どっちかという今藤原さん言われたみたいに、守りますっていうのを頑張って言おうとした結果、結局、あっちにもう1個ありますからっていう答えを出すのに、
1:36:03	自分は壊れるように、可能性あるよねっていう話を、
1:36:09	でも全体枠では機能が維持できますっていう答えを、どっちかって優先して、今19番からに紐付けてるかいコウか何かのやつに紐付けて説明をしてるっていう。
1:36:20	ことなんだよね今。
1:36:22	でも結局、自分が死んじゃうかもしれませんだったらそれは、代替措置でやりますとかのシステム設計を、今はDBで言うと、
1:36:30	安全防護対象以外の安全機能を有する施設はこうしますって言うところに、多分飛ばしてあげた方が自分の設計としては正しい世界。
1:36:41	かなはい。
1:36:42	はい。一応そうしてるつもりではいるんですけど、
1:36:47	補足です。わかりました。じゃあ、滝片田。
1:36:51	良くないというか伝わってこない。
1:36:53	ということだと思うので、ここに、
1:36:56	話をすればいいかなと思うんですけど、
1:37:03	その自分がしっかりと機能持たなきゃいけないのか、或いは代替でいいのかっていうのは、システム設計的なところ話をしなきゃいけないのかなと思うと、
1:37:15	やはり、
1:37:16	もういきなり外傷の方に飛ばしちゃうとですねきついと思うんですよ。
1:37:21	今回せつかくその手前ワンクッションを36条側、受けておいてというふうに、
1:37:29	組んでいるので、そこでしっかりとその整理をして、壊れてもよくて、大体はこういうのでっていうふうになれば、
1:37:39	来るものも限定して明確になって、結果として悪影響防止だけしっかり説明すればいい。
1:37:46	というようなことで触れるので、

1:37:50	そういう形の方が、
1:37:52	添付書類の書きぶりとしても落ち着いて見れて、焦点はクリア。
1:38:02	書きぶりは5、よろしく願い。
1:38:07	規制庁の始まり、大枠としてはその辺り同じようなさっきの機能を持たせる話と似てるようなフジサキの話でいうと、19番29番の固縛の話とかも、
1:38:20	何かクルーのGAFAしてるような気がする。それも後に、はい。具体的に聞きながら、じゃあこう記載しようみたいな話とかをできたらと思います。
1:38:31	19番ニッタつきり29に行かない人がいたり、29日サカイたり、そんなことないです。
1:38:41	規制庁の千葉です。一応大枠としてとりあえず押さえたかったのは、以上。
1:38:46	この資料について、他に規制庁側から何か大枠で、
1:38:56	花井さん大岡さんとか大丈夫。
1:38:58	そこで、
1:39:01	あれしてここで大丈夫です。はい。
1:39:06	じゃ、残り20分。
1:39:18	ダイトウと。
1:39:19	はい。はい。と比較するような、
1:39:31	基本的にはですねこれは記載が十分な情報が足りてないとか、目的に合った形の説明になってないとかですね。
1:39:41	基本的なことではあるんですけども、そういった面と、またあと、ウタハラ図が幾つもあるって、
1:39:49	一つの説明統合できるんじゃない。
1:39:52	コメントもございましてですね。
1:39:55	それに対しては一品ぴんぴんちょっと記載させていただいてますんでちょっと
1:40:00	細かく説明するあれなんで、
1:40:03	見てあれっと思うところかなと思うところは少しちょっと触れると。
1:40:08	3ページ、右下3ページのところで、
1:40:11	水が全然違ってるじゃないかというふうに見えるものがあると思うんですけど。
1:40:15	これももとのDBでの試算設備として出てきたものから、代表ですね、SAでもうまとめるというような考え方にしていますので、
1:40:27	ちょっと見せるものが変わってしまってる。
1:40:30	これマンホールなんで竹森江藤。

1:40:33	緒方宗本部長になってるんだけど、ちょっとこれは代表が変わって説明についてはのみ上の方に書かせていただいていますのでそれについてちょっと、
1:40:40	一つ一つ説明していこうかなと。
1:40:53	本の方がいいかもしれない。
1:40:56	8 ページで、
1:41:00	地下水排水設備ウタがついてないっていう話があったかと思うんですけども、
1:41:05	それについては、ちょっとこの図だとすぐやっぱり見にくいかなというのが思いつつ、バツさせてしまってる状態なんですけれども。
1:41:17	ちょっと示し方が少し悩んだというところで、
1:41:21	これ右側の図を見てもらうと、
1:41:25	ちょっと6分ぐらい、何かタテヤノ走っているようなもの、間に何津田コウはありますけれども、
1:41:33	この下の方に凡例があっただけですね。
1:41:36	黄色く書いてあるやつは、
1:41:39	地震があっても壊れませんという、
1:41:42	私、地震があつたら壊れるかもしれないということで、蓋を設置して、
1:41:47	ルールっていうのが、
1:41:50	ふさ防がルールが閉塞しないような配慮をしてるのが黄色で、
1:41:56	この紫っていうところは、もともと崩れないような設計にしているので、
1:42:02	負担はなくても問題ないですというものになります。一方で、
1:42:06	青ってのが一番右にあるんですけど、
1:42:09	この青については、
1:42:11	凡例を見てもらうと閉塞の可能性がありっていうふうに書いていて、
1:42:14	これは具体的に左の図で見ると、
1:42:18	青のものが3ヶ所、
1:42:20	ちょっと
1:42:21	この緑色で細い線が幾つも書いてある図があると思うんですけど左側に、
1:42:26	そこに青いものが、柱が三つ、FA-1とかA-2とかっていうのがあって、仮にこれが崩れたとしても、その端っこの方にあっただけですね、
1:42:39	これが崩れたこと自体ですね、その地下水の排水機能を全体的には及ぼすことはない。
1:42:45	いう判断をしているといったところがちょっとあったんですけど、ちょっとこの文章だとわかりにくいなと思ったんで少しちょっと口頭で話し、

1:42:56	ちょっと今までわからなかった、またここでちょっとあったんで、ちょっと細かい話するとあれなんで、一度ちょっと、はい。
1:43:04	大卒の話をお聞きさせていただく方が優先かなと思います。
1:43:09	説明以上です。
1:43:11	はい。コサクです。もっと大卒で言うそうですね、代表性なんですよ。はい。
1:43:16	コメントで一番は代表性だったのにそれに対してどう対処しますかっていうのは、何でここに書いてない
1:43:23	日本の医師でございます。すいません。こっちいがー。
1:43:28	冒頭にちょっとだけ触れているんですけども。はい。
1:43:33	それについてはちょっとこれ、
1:43:36	しっかり準備させていただいてからというところもあって、すみません、お出しすべきだったと思うんですけども、ちょっと今、
1:43:44	いやだから、古作です。そのっていうのは何なんだよと、いつどうすんだよっていうのを説明してくださいってというのが、今日の
1:43:54	話題だったはずなので、はい。
1:43:55	この細かなやつのできたものを示すじゃない。
1:44:00	今日の5台をことごとく間違ってる。
1:44:05	それで見ると、代表性は先ほどお話ししましたけど、
1:44:09	ほかに。
1:44:11	何かなかったっけっていうなところがあると思うのでその辺りアライさんなりを重なり、よろしく願います
1:44:20	規制庁の荒井ですけど。
1:44:23	SAとガッチャンコする前までに、DBとしてどこまで進められるかっていうところもあったのかなとは思いつつ、
1:44:34	結局、代表が絞られないとですね、移行についてのパワーポイントの比較表っていうのが、今後意味がなくなってしまうっていうところは出てくると思うんですけどその辺の認識はいかがですか。
1:44:47	日本原燃の首藤でございます。
1:44:50	それより、このパワーポイントの中でも一部、もう代表変わってるものもございまして、
1:44:57	ビビだけのもので、
1:44:59	説明したとしても、
1:45:01	そのうちの一部は、
1:45:02	外部から外れてしまうという意味では、
1:45:07	一部無駄が生じるというところが出てくるというのは、はい。そういう認識で、

1:45:13	よろしいかと思えます。以上です。
1:45:17	そうすると、何を説明したいのかが少しわからなくてですね。
1:45:22	今回、この資料を、過去のコメント対応として、作り、作って電子しました。
1:45:30	てなっても、これを確認することに我々が、
1:45:33	何か見出を踏むような形になってしまう部分が出てくるにもかかわらず、何で提出しようとしたのかっていうのがよくわからないんですけど。
1:45:44	日本原燃の首藤でございます。
1:45:46	そこはすみません
1:45:49	代表の話をされてるとい、
1:45:52	ことかもしれないというのはちょっと頭にあったのは事実なんですけれども、
1:45:57	いただいたコメントを踏まえて、しっかりブラッシュアップしていかないといけないっていうところも、作業としてしていたので、その様を、細かくコメントいただくものじゃないかもしれませんが、
1:46:08	その差はちょっと見せる必要もあるのかなとは思ってお出した次第ですが、ちょっと最初の入口を間違えていたので、っていうのが
1:46:16	理由だというふうに認識しております。以上です。
1:46:22	規制庁の荒井ですけど。
1:46:24	代表の話題はさておきとして、過去のコメント対応で、資料3について作っていましたっていうところを、
1:46:35	があると思うんですけど、
1:46:37	一つ一つ見てもですね、やっぱりMOXの作業状況とか、イシハラさんが作ってた作成ガイドっていうのは、
1:46:48	どのように運用して、これ作られてるのかっていうのがわからなくてですね。
1:46:53	これを対応して図を直して、文章も、合うように作りましていう、いうだけではあんまり意味がなくてですね、コメントの趣旨を読み解いて、
1:47:05	今までのMOXの作業とかの横並びをどうそろえるかっていうところまで踏み込まないとあんまり意味がないと思っているんですね。
1:47:14	そういう意味だと、見やすい図と、それに関連する詳細設計点検開票の文書をつけましたっていうところにとどまって、
1:47:23	あとは、構造設計とシステム設計がちゃんとしましたっていうんですけど、ガッチャンコしたらシステム設計の文章の、
1:47:34	とか説明が抜けたりしてですね、結局意味をなさない資料を見せられてるっていうのが、今日の現状だと思ってるんですけど。



1:47:45	この作業を踏まえて今後どうつなげようとしていくのかっていうところを説明をお願いできますか。
1:47:52	日本原燃の首藤でございます。
1:47:55	すいませんまた
1:47:57	お気づきの点は、はい。しっかりと、
1:48:00	しないといけないかなと思うんですが、
1:48:02	この作業の繋ぎ方というのはまた
1:48:05	我々、2月の近いうちにですね、資料231に参加していこうとしている中で、どれぐらいのものをしっかり記載しないといけないっていったところをしっかりとこの下の中でですね、
1:48:22	浸透させるというか把握するということもあって、
1:48:26	これ、これができたら、これ、
1:48:29	この資料すず20万家ができてからいいんだっていうんじゃなくて、
1:48:34	全体に対するレベル感として、
1:48:37	これぐらいはっていうところをしっかりと我々サイドで認識を持つというところで、意味があるのかなというふうにはちょっと思っております、次にどう展開かという意味では、これをもとにステップアップというか、これをベースというか、一つの
1:48:52	衛藤。
1:48:53	物差しにするというような考えをちょっと持っていたというのが実態でございます。
1:48:58	以上です。
1:49:00	はい。午後、我々としても、この資料に対して細かい点は一応見てありはしてるんでいえると思うんですけど、午後の段階で、こういうふうな細かい点確認しようと思っておりますっていうのは、
1:49:15	一つ一つの項目に対して原燃側の考え方を説明できるように、準備をお願いします。
1:49:23	以上です。コサクです。ちょっと補足すると、
1:49:26	書きぶり。
1:49:28	対応方針、対応の仕方が全部個別になって、とてもこれをひな形にして他のが展開できるっていうふうに見えない。
1:49:37	ですよ。
1:49:38	なので、まずワー
1:49:41	作成方針に従ってください。
1:49:45	だと思います。
1:49:48	今回その作成方針がもし不透明だったからそこまでできなかったんですけど、ということだとしたら、

1:49:56	今回の範囲を踏まえてどこをより明確化したらい、いいのかという話になって、それを踏まえて展開するんであって、
1:50:04	ここにそのガイドがないっていうこと自体がまたよくわからない。
1:50:08	ということになると思うので、午後のヒアリングをするにあたっては、しっかりとグループ1の方を見返していただいて、何が足りなかったのかっていうのを、いちいち我々がガイドのどこのと言わなくても、
1:50:21	対応できるようにしといていただきたい。
1:50:24	思います。
1:50:26	はい。
1:50:27	ちょっと個別の話に、
1:50:29	踏み込んだりして申し訳ないですけど例えばですね。
1:50:32	コメント1からそうで、
1:50:35	説明が足りないって言うてるから、図面の方に説明追記しました感じなんですけど。
1:50:41	そもそも設計方針がないんです。
1:50:46	そういう意識を持って対応しないということで根本的に間違っ、
1:50:49	ます。
1:50:52	それは例示をされた、この後ろの方にある、
1:50:59	防護ムタ。
1:51:00	の設置するしない。
1:51:02	もう、設計方針としてどう、
1:51:05	明確になってるんですか。
1:51:07	で、その明確にしたということであればその説明方針ってどうなりますか。
1:51:12	いうことに分解をして、資料3 資料4、
1:51:16	どういうふう考えていくのかと。
1:51:18	いうことの説明をしなきゃいけないのに、
1:51:21	図面で、この資料のここにこういうふう書いてあっていいでしょう。
1:51:26	そんな対応だったら整理ができない。
1:51:29	そういったところをしっかりとやっていただきたいと思う。
1:51:34	ます。先ほど、あれが午後言うっていうことだったと思うんですけど、
1:51:42	等、
1:51:43	3ページって書いてあるやつだと先ほどちょっと記載主が明確でした。
1:51:49	されましたけど、
1:51:50	そもそもここで何を説明するつもりだったのかっていうこと等の認識があればもうちょっと、
1:51:58	書き方が違ったと思うし、上で書いてある。

1:52:02	文章としても、可搬型SA設備を代表としてってこれ何の代表ですか。
1:52:07	固縛全部ですか。
1:52:11	資機材の、日本原燃の資料でございます。
1:52:17	生徒DBの廃アノババの対象と、
1:52:20	固定固縛の措置の代表がこれだけで済むと思いますか。
1:52:28	ちょっと分、
1:52:29	進まないからあれですよねマンホールなのによって言われたんだと思うんですけど。
1:52:35	ちょっと図面のつけ方を間違っただけじゃなくて文章間違ってる。
1:52:42	言葉が足らなかつただけかもしれませんが、言葉がタダ＝間違いですから。
1:52:47	そのあたりもしっかりと対応していただき、
1:52:52	です。
1:52:53	その次の
1:52:56	図面も、先ほど新居が言ったように、統合した結果説明項目がありました。
1:53:02	いう感じに、
1:53:04	見えます。
1:53:07	何かいいわけです。
1:53:13	試していただいているのは、ホームページの話かなというふうに思うんですが、
1:53:18	すいません。
1:53:22	不足して、
1:53:24	一つに統合したものの、その情報量として失われている。
1:53:31	私はちょっと認識していたのですいませんちょっとそこはもう一度確認させていただきます。ことごとく抜けてます。
1:53:39	質問しますけど、
1:53:41	ヒライ設備の構造って何ですか。
1:53:43	何をもって説明すればすべて説明し切れれると思います。検査も落ち着いてやれるんですよ。
1:53:49	この図面で検査できますか。
1:53:56	検査。
1:53:58	では、日本原燃の石黒でございます。
1:54:03	この必要な都心とか水平導体のヨリキつの距離はあれなんですけど、
1:54:11	都心の長澤。
1:54:14	古澤。
1:54:18	線の形は、

1:54:22	はい。すいません。そういう意味ではごめんなさい。人間のニシウラですけども、
1:54:28	ここでは、
1:54:31	説明したいものが実数がそういったものであるという説明を、
1:54:37	わかりやすく、記載していて、これ、ごめんなさい、古作です。わかりやすく、
1:54:42	なってないですよ。
1:54:44	概略でしか説明しないつもりって感じになって、
1:54:48	一応申し訳ないけど、施工人の審査会合なので、
1:54:53	設工認レベルD、
1:54:55	必要な事項を説明してもらわないと審査はないですから、
1:54:58	許可と勘違いしないよ。
1:55:01	いうところだと思います。
1:55:06	日本のイシコ、
1:55:12	何で類型代表って言ってるかっていうとそのレベルのものを全部やられたのでは、作る方も大変だしミルボン大変ということだから、
1:55:22	同等というものが範囲を明確にして、これを説明したら他のやつも同じですと言ってそうだねって。
1:55:30	思うので会合で出す必要はないよねと。
1:55:32	いうことで対応してもらっているので、概略の説明でいいというふうな感じはしないよ。
1:55:44	かしこまりました。
1:55:48	荒井さん、すいません。どうぞ。
1:55:53	規制庁荒井です。一応以上だったんです。わかりました。岡部さんあります。
1:55:59	はい。岡です。入っていただいたところは、あとは午後いろいろな細かいところを伝えたいと思います。
1:56:09	はい。他、どうぞ。
1:56:12	大丈夫。
1:56:16	うん。
1:56:23	また、
1:56:25	ナゴがあるから振り替えます。
1:56:28	はい。
1:56:29	午後に向けてで、
1:56:31	原燃側から何か少し確認しておきたいことがあれば、
1:56:36	ヤギニシダでございます。こちらのディー・ディー・エスへの義務づけは先ほどポイントは、お話をいただいたので午後ちょっと中出委員。

1:56:46	どういうポイントでどこ、今悩んでるところが本当にあるのかないとか。
1:56:51	ここちょっと失敗したところがあるかって含めて、ちょっと洗って、信田と話ができる。
1:57:01	あと、
1:57:03	もう一つの資料は、作成者とかも。
1:57:08	聞いといてもらった方。
1:57:10	はい。
1:57:14	全体的にすいません代表云々、
1:57:32	この日
1:57:35	はやんない。
1:57:51	アノコサクだ。
1:57:53	うん。それも何かっていうと結局決得さんが全体マネジャーできてないから、
1:57:58	だと思えます。
1:58:03	何が最優先事項なのとかかっていう話を、
1:58:06	ちゃんと認識してればこんなことにはならないし、
1:58:11	このヒアリングややりましょうよと言われる前に、
1:58:15	そういうタスクを組んでおいて、
1:58:18	滞ってるんだったら手当をして、できる体制を組む。
1:58:22	いうことが大事なんで、
1:58:25	この断面になってそんなことにならない。
1:58:31	長谷川です。私のマネジメントだと思いますんで。はい。そこをちゃんとやれて、
1:58:36	はい。
1:58:41	はい、じゃあ5分、はい。
0:00:00	録音開始しますか。規制庁の藤原です。それでは午前中に引き続き午後のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:10	メンバーの入れ替えがありましたので、再度メンバーをお知らせします。規制庁側、規制庁会議室からフジワラ後遅れて得策調査官、あとウェブからヤマグチおうか、アライ。
0:00:22	以上です。原燃側も、
0:00:26	対応される方の参加者の名前と、あと、午前中続きですのでこちらからはすると思いますのでとりあえず、参加者の
0:00:35	を教えてください。
0:00:39	はい、日本連事務局中浜でございます。
0:00:43	こちらの日本令和の出席者ですけれども、午前中から追加は特にございません。

0:00:50	イシハラタカヤイシグロ。
0:00:54	その他ですね、六ヶ所側から作業資料の作成メンバー、各部署からですね、参加させていただいてございます。
0:01:03	参加者以上となります。
0:01:06	はい規制庁の藤村です。ありがとうございます。それでは午前中の続きで、まず、DBSAの整理、そのあとに、
0:01:16	再処理のグループ1のコメント回答関係のものというふうに考えてますが順番それでよろしいですか。
0:01:27	はい。大丈夫です。
0:01:29	はい。規制庁の藤原です。ではDSAの整理の関係から、
0:01:35	確認をしていきたいと思います。
0:01:39	それでは午前中に、
0:01:42	いくつかも伝えているところではありますが、午後にといったところを具体的に確認をしていければと思っています。午前中に一旦飛ばしましたが、そもそもこの整理、
0:01:56	の、これまでのやりとりを踏まえたものになっていますかみたいなのところも含めて、
0:02:01	やっていきたいと思います。
0:02:04	まず、
0:02:05	確認したいんですけども、
0:02:10	1 センナ添付1と添付2があって、添付2の部分ですね26ページからですかね、のところで、
0:02:24	年末の方の整理がどうなっていたかというところと全体的な整理どうなっていたかなんですけど、
0:02:32	真ん中になる基本設計方針って言うていいんですかね、あの前の。
0:02:37	ものから、
0:02:39	引き受けてまた次に行く分、例えば26ページで言うと2番ですかね。
0:02:45	1036条の分の2番であれば、一番から基本設計方針はもらへと引き継いでいて、そのあと展開をしていくみたいなのところがあるんですけど、
0:02:57	これって、この部分は展開しないとかいうので、
0:03:03	引き受けた分なんか1を受け、
0:03:06	から受け取った設計ですよって話は書かないんですけど。
0:03:13	日本原燃の瀬川です申し訳ございません。年末の整理でしっかり受けと小橋といった関係性は、当時の添付、
0:03:24	添付1とかっていう資料で整理をさせていただいた通りでしてそれが実際今のこの資料2の方に、

0:03:32	お作法として展開しきれないというのが、今のちょっと現状のステータスでございました。本当はそういったできてないところを、
0:03:40	しっかり、
0:03:42	田上なりにですね、書くべきだったんですけども申し訳ございません 今回のデービーSAの統合の部分ばかりちょっと着目してしまっていて、 その他のところのちょっとフォローがちょっとおろそかになってました。申し訳ございません。
0:03:55	はい。規制庁の藤原です。そうですねで、今回は添付 1 店舗 2 があって添付 1 の方では竜巻ではそれが確かされていて 2 番のものは一番からですっていう話があり、
0:04:07	なので受け取ったものをまた展開していくものというものが、きちんと整理されていたかと思しますので、その点も、
0:04:15	しっかりとやっていただきたいと思っていて、午前中の話にもありましたが、例えばその 14 番で話していた部分も、
0:04:24	この後に展開があるのかないのかで、ここで展開しなければいけないものは何なのかっていったところに、続いていくと思うので、
0:04:33	例えば 14 番は、この後、違うところに展開しますがあったと思うんですけど、そこら辺もやっぱり、もう抜けてしまってるっていう状況ですかね。
0:04:43	はい。日本原電の瀬川でございます 14 番についてはですね、午前中も少し補足したかったなと思ったところで、ですね、この常設SA設備の多様性独立性期的分散、
0:04:57	に関する設計はですね、これちょっと基本設計方針の立て付けが、もしかしたら直さなきゃいけないのかもしれないんですが、15 番以降はですね、
0:05:08	健全性に関する内容を述べているのみでして、位置的分散に関する内容というのは 14 番だけ。
0:05:18	終わってしまってるんですね。
0:05:20	ページめくって見ていただきますと 30 ページ以降にですね、161078。
0:05:29	とありますが、ここで述べているのが、健全性に関する説明ばかりでして、
0:05:39	展開する申し出でございますちょっと今私違うカセ議員。はい。今の説明だと、
0:05:49	今SAの 36 条から八条に振る時 2、例えば、片方 1 定義分散して守ります。これはなぜそこに飛ばすかは、
0:05:59	機能維持をするという観点で、
0:06:04	同じだから、そこに飛ばしますみたいに言ってるじゃないですか。はい。ちょっと言葉足らずで悪いけど例えば 20 番でとか、常設の話で、

0:06:17	23 番以降で下は 23 番、20 番か常設だと 20 番で、竜巻とかいろんなものに対して健全性を確保すると、ここが健全性を確保するというだけでよかったのかどうかということはあるけど、
0:06:31	ある種、機能を維持するという観点ではここから派生して飛ばすということもできないことはない気がするかなと。
0:06:40	はい石原さんが今言ってくれたようにですね、今回 1 滴分散っていうものを、健全性を確保する手段の 1 手段だというふうにとらまえると。
0:06:53	いう考え方をしましたので、
0:06:57	こういったところ、20 番とか 21 番からですね、飛ばすというやり方もあろうかとは思いますが。
0:07:05	ただ、すいません、昨年末までの整理では、位置的分散に関するような内容は 14 番から飛ばしで 15 番以降、1016 番以降か。
0:07:15	は環境条件に関する内容だけを記載すると、というような整理をしてしまっていたので、ちょっとそれに準じた整理を今回やっていたということでございます。
0:07:24	どうするかというんですね、
0:07:27	健全性を確保する 1 手段が位置的分散だという解釈のもとですね、しっかり 14 番は冒頭宣言に徹してもらって、
0:07:36	各 16 番以降の、
0:07:39	ところからですね、位置的分散に関する内容を飛ばしていくと、というような整理に改めたいなと思います。以上です。
0:07:48	はい。規制庁の藤原です。
0:07:52	お 2 人のやりとりを聞いてても少し気になったのは、14 番が、以前の整理だと位置的分散がここで展開するしかないとしていて、
0:08:03	やってましたということなんですけど今回は多様性とか、独立性とかまで入ってしまったので、展開方針がどうなったのかがよくわからなく、
0:08:13	なってるところではありましたが、
0:08:17	ものによって後で展開していくのであればこの 14 番の最後には、どこで NO に展開するっていう話が、
0:08:25	入るべきだったとっていて、そういったところも、前回からの年末からの整理とずれてきてしまっていたんじゃないかと思ってるんですけどその辺の認識いかがですか。
0:08:38	はい。日本原燃のセガワですえーとですね。
0:08:42	この 14 番の設計方針のところちょっと 4、見ていただきたいんですが 27 ページですね。
0:08:50	適切な措置を講ずる設計というのが文末にあります。



0:08:56	この適切な措置というものの一部が環境耐性を持たせることだというふうに、昨年末ではとらまえていて、この適切な措置という部分だけについては冒頭宣言の位置付けにして、具体的な措置というのが、環境に対する措置というのが、
0:09:14	甲田の 16、No.16 以降で展開されるというような整理をしていたのが、昨年末の整理でした。
0:09:23	そういう意味で、昨年末の整理から変えたつもりはなかったんですNo.14 についてはですね、
0:09:30	はい。というのが、私の認識でした。
0:09:34	はい。規制庁の藤原です。
0:09:37	はい。
0:09:39	ただ今回の資料見ていると結構戦争がユリにしているような、手が追いついていないという部分なのかわからないんですけど、
0:09:48	年末の整理はどこ行ったんだっていうものが、他の部分でもあって、
0:09:55	例えば、今その 14 番でも、
0:09:57	設置要求だけが今記載されていて、
0:10:01	年末だったらここに冒頭線が入っていたわけですね。
0:10:05	なんですけど、
0:10:07	少し、もう少し、年末の中でも、三つぐらいあって、
0:10:11	設置ユキしかかけてなかった。
0:10:13	とかがあり、また、ものによって、
0:10:17	基本設計方針の分解能というかメッシュ間をDBとかとも合わせようねっていう話でやっていた枝番とかも消えてしまってるんですね。
0:10:28	その点とかについてはどういう認識ですか。
0:10:33	はい。日本原燃の瀬川ですこれもしっかり断り書きをすべきだったところでして、先ほど最初にご指摘いただいたですね、ナンバー1 の設計を受けてる記載がNoにないじゃないかと。
0:10:45	言ったところの、まさに、
0:10:48	もう一つやってないことのひとつですね、この要求種別のところの記載が、昨年末までの清梨衣を反映しきれてないのもこれ実態としてございます。
0:10:59	ご指摘の通りですね、No.14 では設置要求とあと冒頭宣言としての 16 番以降への展開、これを年末の整理でやっておりましたし、27 ページの 10、No.14 の一番上のところでもありますね、具体的にどういう内容を下流側に振るんだといったところまで書き起こしてたのが年末の
0:11:18	整理でございましたそれがちょっと繰り返しになってしまいますが、今回の資料、DBとSAの連携といった部分ばかりにちょっとフォーカスしてい

	て、そこら辺の細かなですね、反映というのができてなかったのが実態でございます。以上です申し訳ございません。
0:11:35	はい。規制庁の藤原です。
0:11:38	せっかく年末に整理していたので、それを、に基づいて整理を重ねていただきたいということと、何かそれで進めている上で、
0:11:49	悩みの部分であったりこの整理ではちょっと難しいというものがあればもちろん、変えていただけてただそれをちゃんと説明していただくというところかなと思います。今回はちょっと、
0:12:00	そこまで手が行き届いてなかったということで理解しました。
0:12:06	あと
0:12:10	基本設計方針の分解能のところもなんですけど、今回ただこれ、展開するにあたって本当はな悩ましかったんじゃないかと思っていて、
0:12:19	結局、
0:12:21	DPの方での整理と綺麗に合わないところとかが出てくるわけですね。
0:12:26	なんですけど、これは担当者の方から疑問みたいに出なかったんですかね。
0:12:35	日本原燃の瀬川です
0:12:40	申しますとというと、
0:12:43	もう
0:12:46	規制庁ノジマじゃ
0:12:48	例示で 15 番。
0:12:50	15 番って枝番で一番 2 番ありましたよね。
0:12:53	で、2 番は、この規定に振る部分。
0:12:56	そういう整理がされていて、持って行った先のDPもそうしてませんか。
0:13:03	日本原燃の瀬川です申し訳ございませんありがとうございました。
0:13:07	その通りですねこれ枝番振って、完全に運用要求とする部分と、それ以外のシステム配置構造を述べる部分というふうに分けた。
0:13:19	は分けました。分けた上で、
0:13:23	そうですね。
0:13:25	例えばですね、30 ページのところですね。
0:13:30	本当であれば 30 ページの下から 4 行目のところなんですけれども、運用要求のためってば一んなってるんですがこれ本当は 55-2 に対してこう書くべきなんですけどちょっとそこまで、
0:13:45	整理が追いついてなかったのが実態ですねまとめ方としてはこんな形で運用要求のカラムをですね、まとめて整理しちゃっていたもので、作業としてできなかったっていうことではございません。以上です。

0:13:58	はい。規制庁の藤原です。
0:14:01	状況はわかりました。今後は、きちんと去年やっていた整理に基づいてやっていただけたらと思います。なのであれですかね次のバババージョンになるんすかね。
0:14:14	15-1であったり他の部分も、この辺り全部分解していったと思ってますので、その辺りも整理されたものをちゃんと提示いただけるということで大丈夫ですか。
0:14:25	日本原燃の瀬川ですしっかりですね、昨年末との整合を図って、
0:14:32	次のバージョンは提出したいと思います。以上です。
0:14:35	はい。規制庁の藤原です。一応ザッと見たところでのこれまでのやりとりを踏まえてできてないなっていったところは、
0:14:44	頭以上なんですけど、それ以外にも金城側からのこれまでの議論を踏まえてないんじゃないかっていったところで、何か言いたいことがある方いらっしゃいますか。
0:14:56	規制庁の荒井ですけど。
0:14:59	ウタアノDBとの規模付けってところがよくわからなくてですね。
0:15:05	例えば 19 ページですかね、この資料で言うところの、
0:15:11	19 ページで、Dの 29 番で固定固縛の話が、
0:15:17	出てて、SAでも固定固縛をしますってところが、紐づいてこれはこれでいいのかなと思うんですけど。
0:15:25	ここの竜巻の 29 番じゃなくて 19 番の方ですね。
0:15:32	ページで言うと、
0:15:35	15 ページ目とかですかね、15 ページ目でちょっと上かな、
0:15:49	えっとですね受再 19 番エコバックの話が出てるって言って何か、
0:15:56	繋がらないですけど、はい、八木沢でございます
0:16:00	屋外に置くような可搬型の設備に対して、19 番のいわゆる
0:16:08	屋外の防護対象施設が竜巻とかの荷重に対して、構造健全性を維持すると、常設みたいなその状態で、
0:16:19	自分が耐えるって話なんですけど、可搬の場合の対応手段が固縛だということでこれ、こちらのこれも冒頭申し上げるべきなんかミスがあっただけですね。
0:16:29	これも結局、この 19 番の派生で 1 回とるものの、最終的な設計は 29 番に預けるという形で、二段階で展開をして、最終ゴールは 29 番まで全部セットでということにしなきゃいけなかったところがまだ、
0:16:44	そこがケアできてないところが一番あったということです。
0:16:47	はい。そういう意味だと、あれなんですかね。二つ同じようなところが出てくるところは、最終的なところに記載を、

0:16:56	何か落ち着かせるっていう措置をするってことになるんですか。
0:17:02	はい。イナミネ社でございますとここまで綺麗にできるわけですけど、基本あるところで、大代表的とかまとめて、その設計を具現化するというところに、
0:17:15	落ち着かせたいなと思ってますただそれをやる時にですねあまりまとめすぎると元の要求と合ってるかどうかというのがまたよくわからなくなるころは、そこにはちょっとケアをしながらやるということだと思ってます。
0:17:27	はい、わかりました。ありがとうございます。
0:17:32	規制庁の藤原です。ここになれば、少しずつ進めていきたいと思います。
0:17:39	衛藤先ほど話していた14番、
0:17:43	のところぐらいから、中身、
0:17:47	展開、
0:17:48	を見ていければと思うんですけども、
0:17:54	14番で、14番はまた整理をされるということで、
0:18:01	理解は、
0:18:03	してますが、
0:18:07	今の記載の中で気になっている部分を、
0:18:12	お伝えすると。
0:18:16	14番の、二つ目のセルになるんですかね。
0:18:21	屋内に設置する重大事故等対処設備はというところで、
0:18:27	ところの説明の中に、
0:18:31	屋内における位置的分散の効果がより発揮される。
0:18:35	建屋開口に、
0:18:37	対するっていうふうな記載があるんですけど、これって何が言いたい。
0:18:43	はい。日本原燃の瀬川でございます。
0:18:46	えっとですね竜巻の設計方針、
0:18:51	ちょっと、
0:18:52	振り返っていきたいんですが、
0:18:55	この位置的分散の設計を、竜巻の、デービーの設計方針をどこに充てるかと、いうことを考えたときにですね。
0:19:06	屋内の位置的分散としては、竜巻でいうとNo.14の屋内の設計を述べているところ、何、何ページでしたっけ。
0:19:17	7ページとかですね、7ページのところで、屋内の防護対象施設の設計を述べている方針、ここにあてるっていうのが一つ目の候補としてあって、

0:19:29	もう一つ、屋内設計を述べているやつで、先ほど甲斐小って書いたNo.18 ですね、これ 11 ページにございますけれども、
0:19:39	開口部に対してびこぶ井影響に対する設計が出てるところのどっちに 充てようかなと、迷いました。
0:19:48	で、
0:19:49	結果して 18 に紐付けたんですけれども、屋内の位置的分散に対して、 龍間キーを考慮して屋内の 1 基分散を語ろうと思ったときに、
0:20:01	どっちの設計に紐づけるのが最も適切かなと考えた結果として 18 に紐 付けたものですこれあの、その考え方はですね、オク、
0:20:11	竜巻に対しては、屋内設備っていうのは建屋で防護することによって、 結果して守られてしまうので、その位置的分散の効果っていうものを見 ようと思ったときにですね、何ていうんでしょう、14 番だと、建物にしまっ とですね、
0:20:27	あんまり位置的分散っていうのが明確に
0:20:31	活躍しないというか、
0:20:32	だろうと、いうふうにとらまえました。で、18 のようにですね、開口みたい な、屋内にしまっただけでも、何か影響受けちゃいそうな、設計、
0:20:45	小、こっちの方だと、位置的分散の効果ってのがより、なんていうんでし ょう。ちょっと言葉が、表の説明がうまくできないですけれども、例えば開 口部 I に常設衛星設備が仮に 1 個いたとしても、
0:21:00	ちゃんと屋内で他の区画の開口影響受けない場所にもAB設備がいた り、もう一つの予備のSA設備がいたりという関係性が、
0:21:13	より際立って位置的分散が活躍できるという思いで、すみません、うまく 説明できないですけれども先ほどの 27 ページにあるようなですね、表 現で表したつもりでした。はい。以上です。
0:21:28	はい。規制庁の藤原です。何となく、
0:21:32	言いたいことはわかったんですけど、もともと外構部とかがある性で守 れないものもこの中に含まれるから、18 番はただ単に選んだというわけ ではなくて、
0:21:45	そういったものがない場合でも、
0:21:48	18 番を実は選んだっていうことなんですかね。
0:21:53	日本原電の瀬川ですご理解の通りですアノ常設衛星説Bに対して、こ の開口部影響で何か悪さするというものは結果していないんですね。
0:22:04	ですが、アノより、
0:22:08	活躍できる場所ということで、あえてこの開口部の設計にぶつけるよう な整理をしたのが今回の整理となっております。以上です。
0:22:18	規制庁の梶原です。

0:22:21	ふうん。
0:22:23	あえて、そういったものがないのにここに、
0:22:26	当てる意味は、私にはちょっと理解がしづらかったんですけど、
0:22:32	あれです。
0:22:33	より厳しい条件があったとしても対応できますってことなんですかね。
0:22:37	日本原燃の瀬川です。えっとですね今回のこの整理では出てこなかったんですけども、後程、ちゃんと正式版っていうか全体を押さえた版では出てくるものとして、
0:22:49	建屋開口がある部屋に、
0:22:52	可搬型SA設備を保管している場合がございます。
0:22:59	航空機墜落火災とか考えてしまうそうですね、二次輻射の影響で、その可搬型SA設備がやられる可能性がございます。
0:23:10	そういったものに対し、そういった可搬型SA設備については、
0:23:18	外部保管エリアにある予備を期待したり、屋内のDB設備との位置的分散ということで可搬型設備が置いてある場所と、その代替元であるDB設備がきちんと火災影響を受けない場所に設置されてると。
0:23:31	そういう分散の効果、一時期分散の効果は、この開口をに関する設計のところで展開されることになるんですね。
0:23:41	そういった、具体的に活躍できる設備がいるというところをとらまえて、であれば、全く守られてて、そんな
0:23:54	今の常設の話じゃないですけども、守られてるやつについてもですね、一律同じ考え方で、開口影響の18番といったところに紐づけてしまおうというのが今回の整理でした。
0:24:07	はい。以上です。
0:24:09	はい。規制庁の藤村氏可搬型の話については聞いたことがあったので、常設もそういったものがあるのかなと思って、実際は読んでいた部分だったんですけど、常設にはそういったものがないけれども、
0:24:22	可搬のところと或いはそろえたというか、そういったものもあるのってということでここに紐付けたと、一応理解はしました。今後タダアノ、
0:24:33	構造設計とかを展開するに当たって、
0:24:38	あれですか。
0:24:39	内数になるから大丈夫ってことなんですかね。
0:24:45	日本原燃の瀬川です。今藤原さんがおっしゃられた内数というのは18番の、
0:24:52	構造設計を説明すれば、そうじゃない子たちも結局入っちゃうから、大丈夫っていうことなんですかね。開口部の対象に、
0:25:03	そういうことですね。はい。はい。

0:25:05	わかりました。規制庁の藤山後で混乱したりとかしなければいいかと思 います。
0:25:12	はい。
0:25:15	次にその次の、
0:25:18	セルのところもう、
0:25:20	ちょっとよくわからなかったんですけども。
0:25:24	19番ひもづけてる部分。
0:25:27	ですね。
0:25:28	そこの部分は、これ屋内機器配管でしたよね。屋内機器、配管の部分 で長清掃は屋内機器、配管に分離されてるのは理解してるんですけ ど。
0:25:41	可能な限り位置的分散を図る設計と言いながら19番に竜巻の19番 で、屋外の設備、
0:25:49	健全性しっかりしますみたいな、
0:25:52	基本設計方針に紐付けた理由って何ですか。
0:25:56	日本へのセガワです。これもちょっと文章が端的に書きすぎてるのかも しれないんですけども、
0:26:05	屋外の設備設計、No.19で述べてるオクガワの設備設計ってのは基本 的に耐えるみずからが買えるか、対策設備によって守ってもらうって いうのが、DBにおける設計の基本。
0:26:19	でございます。SAにおいても同様なんですけれども、そのうち、こうい った貯水槽とかっていうものも、何て言ったらいいんでしょう。
0:26:31	位置的分散を図って、
0:26:35	健全性を確保するっていう、そういうプラスアルファの発想を、
0:26:41	屋外の設備に対してもやっぱ適用でき形なんなんっていうんですかね。
0:26:48	でも世話されてるんじゃないんです。私の理解は、位置的分散というキ ーワードを、結局、健全性確保見て機能維持みたいな一部だと言いな がら、
0:27:00	県カッチ的技を図るというキーワードをなるべく出しやすい。
0:27:06	番号に結びつけてるだけで、結局これも屋外の、もともとDB設備が棒、 要は対になっている設計基準の設備だったよね。
0:27:18	はいそうです。だからそれと生きて危惧されたときに、それに屋外の設 備で、
0:27:24	健全性じゃないな、安全機能を損なわないように設計しますってところ に、

0:27:29	結びつけてもよかったけど、位置的分散っていうと何、何かどっちかが壊れるから、もう片一方は大丈夫みたいな説明をしようとした時に、そのキーワードだけで今 18 番に、
0:27:41	19 番か 19 番の長南。
0:27:44	19 ですか。だから屋外のやつが相手だからここに持ってきたじゃなかったっけ。そう。そうなんですその通り。すいません。石原さんに言ってもらった通りですね、屋内にいるデービー設備との、
0:27:58	位置的分散は 18 で語り、
0:28:00	屋外にいるデービー設備との位置的分散は、屋外の設計を語っているところで語るのが、
0:28:08	収まりがいいだろうということで、19 に当てたということです。はい。
0:28:16	規制庁の藤村です。示したいことはわかりましたがやっぱりそれだと文章が、
0:28:24	微妙ですかね。
0:28:28	そうですねヨシダでございます。屋内設備の院長、屋内設備、屋外設備の機能 1 加工の手段と言いながら、元は屋内の議会かにぶら下がっても、この間に、
0:28:41	ここで 2 ポツでいって設計基準事故に対する数という設備との位置的分散という設計基準事故側の対処対応から、屋外だから、
0:28:52	その機能確保との関係を踏まえて、19 番に降りますということが、書ければよかったのかもしれませんが。
0:29:02	規制庁。
0:29:08	その辺りちょっと、文章でわかるようにやはり位置的分散を図るっていう話に来る等物によっては、こま壊れてしまうけどみたいな。
0:29:19	話で、
0:29:21	持たせられない持たせられるみたいな方の議論のように思えてしまって、元の設計基準の設備に対して位置的分散を図る。
0:29:32	ところのセットとして説明しないっていったところの部分を今多分おっしゃりたいのかなと思っていて、そういったところ、
0:29:41	ニワ今読み取りづらいかなと。
0:29:43	思っているのでその辺りがわかるようにしていただけたらと思います。
0:29:49	はい、日本へのセガワです。承知いたしましたここに限らずなんでしょうね。ちょっと端的にまとめ用といったところが、
0:30:00	ちょっと前面に出すぎちゃってる感がありますので、丁寧に記載するようにいたします。以上です。
0:30:06	規制庁の藤原ですよろしくお願いいたします。



0:30:10	続いて 15 番についても、14 番と一緒に、ここで展開すべきかどうか みたいところが、
0:30:19	あるかと思っていてその辺りの認識っていかがですか。
0:30:25	はい。日本原燃の瀬川です先ほど午前中にあった悪影響をですね、悪 影響も基本的には健全性を持たせるってということと同義なので、
0:30:38	1 回健全性側に、環境条件としての設計の方に投げかけた上で、DB側 に渡すなんていう整理と、近いものかなと思ってます。
0:30:51	ここに書いてあるNo.15 みたいなのはですねやはり環境側でも同じような ことを論じてますので、そちら側に 1 回たたんで畳んでというか、36 条 の中で交通整理をした上で、
0:31:04	環境条件側のこのただし書きのところから、設計基準を飛ばすという、 整理の方がスマートかなと思っております。以上です。
0:31:13	はい規制庁の藤原です。おっしゃる通り環境条件の方で、具体的に事 象に対して書き下している部分があるので、そちらに
0:31:23	全部本当に持っていったいいのかも含めて考えてはいただきたいと思 います。一応これ、このパートは共通要因故障の部分のパートではある ので、ここで論じるものが本当はないのか。
0:31:35	で、本当にそっち側に全部移行してた、ゆだねて大丈夫かみたいなど ころは検討いただいて、整理をいただけたらと思いますのでよろしく願 いします。
0:31:47	はい、承知いたしました。
0:31:50	規制庁ノジマしてここは整理していただくんですけど、整理する際に、
0:31:58	留意していただきたいところがあって、今これが整理されるという前提 のもとに、この中の話をするんですけど、
0:32:07	緑色のうところで竜巻の分幾つか入っていて、
0:32:12	一つ目だと、修理により、
0:32:15	必要な機能を回復する設計。
0:32:17	二つ目、一つ飛ばして青色飛ばして、次のところ、
0:32:22	の修理によりっていうのでシステム設計配置設計、構造設計っていうと ころで、基本的に同じ文章がほぼ書かれていると思っているんですけ ど、本来、システム設計ではその中の何を説明しなきゃいけないのか。
0:32:37	配置設計だったらどういった部分を説明するのかっていったところを、こ こは書き下す分
0:32:43	で、同じ 4 番に振る中でも、なぜこのセルを分けたのか、そういったと ころがちゃんとわかるように、記載を、
0:32:52	具体化して欲しいんですけどいかがですか。

0:32:56	はい。日本原燃の瀬川です。今ちょっとご指摘されるまであんまりそういう意識なかったんですが、最もだなと思って聞いておりましたしっかり目的ですね、そこわかるように、
0:33:08	書き下したいと思います。以上です。
0:33:11	はい。規制庁の藤原です。これって共通 12 の資料 2 を作る際に、このアノな、設計項目をこうやって分割していった時にいろいろ議論になっていたかと思うので、そういったところの議論とかを踏まえながら、
0:33:25	検討していただければもう少し具体化するのかなと思ったところでした。
0:33:30	で、
0:33:32	同じく、その 15 番の中でも、同じシステム設計とされている中でも、いっぱい書かれていて代替設備等、修理等、
0:33:42	工程停止っていうのが理解してるんですけど。
0:33:46	これはこういうふうに分けていくんですかね。それもなんか共通 12 の整理方針と、
0:33:52	一緒なんです。
0:33:58	iPhoneイシハラでございます。
0:34:03	共通要因の整理方針と一緒にという、若干今ずれていると思ってます今は愚直に、あるものを分解してもらおうと思ってあげてもらってます。これ最終的に何を語りたいか、どういう紐づけで、
0:34:16	システム設計配置設計構造設計が要るのかというのを見ながら、達成したい。要求事項との関係を含めて、ジョイントするなりなんなりするのはやらないといけないと思ってます。
0:34:28	そこまでまだ
0:34:31	まずは、作ってもらう人に何をっていう個別の案件をまずできるだけちゃんと上げようということで採用してますんでそこまでまだ行き着いてないっていうのが現状だと思ってます。
0:34:43	規制庁の藤原です。わかりました愚直にされていってということで、見栄えの問題だったりとかもするのでもちろん
0:34:53	手落ちがないように進めていただくっていうところでやっていただけたらと思います。
0:34:59	全体的なんですけど、セルを分けた理由がやっぱりわからないところが多い。
0:35:06	ですよ。
0:35:07	ていうところがあるので、こういったところでも分けるのであれば、これは代替設備によりっていうのとか修理とかの違いがあるんですよっていうことだけなのか、もう少し本当は書きたいところがあるのかわからないんですけど、

0:35:20	そういったところへとなに違いをつけて今分解しているのか、その分解をし、見て、
0:35:27	でも勝最後には一緒にできるよねみたいなところがあったりってところの次のステップに進めるのかっていったところはあると思うので、
0:35:33	その辺り、ちょっと検討いただけたらと思います。
0:35:39	はい。インタニございます。はい。ちょっと作業者目の
0:35:44	レクチャーも含めてセガワと相談しながら進めますはい。
0:35:50	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願ひします。
0:35:53	違う。見にそっか。
0:35:58	いや、今ので大丈夫。
0:36:00	です。
0:36:02	で、続けて、
0:36:05	23番、31ページ辺りですかね。
0:36:14	うん。23番のところの、
0:36:18	こちらも
0:36:20	可搬型のところの冒頭宣言になる部分かと思うのでこちらもこれまでの議論を踏まえて、展開は考えていただきたいというところですが、中の文章のところちょっと、
0:36:32	理解が理解しつつも、
0:36:35	よくわかんないなといったところを確認したいんですけど。
0:36:38	屋外の機器配管の一つ目の緑セル、
0:36:43	屋内外に保管する可搬型の
0:36:46	うち、
0:36:47	屋内保管分はっていうお話があるんですけど、これってあれですか、同じものなんだけど、衛藤市へと分散配置するので、屋内のものと屋外のものがありますっていうことでこういう文章になってるんですかね。
0:37:03	はい。日本原燃の瀬川ですご理解の通りです。
0:37:07	規制庁の藤原です。で、そういう状況のものだから、分類としてはそれこそ厳しい目の屋外
0:37:15	の方に分類を入れた上で、
0:37:19	展開していくってということでこんな、こういう記載になりましたってことですか。
0:37:24	瀬川さん、私も僕、
0:37:28	朝から電話する時に、これってコンテナじゃなかったっけ。
0:37:34	日本原燃の瀬川です。コンテナに保管しているコースなんですね。ねそれは逆に言うと、
0:37:43	オクないって言えないんだよね。

0:37:46	あのな、あるものに入っているのは理解するんだよ。
0:37:48	でも、ホースって屋内屋内っていうのはあくまで、
0:37:53	外部衝撃から守られるような建屋、自分が耐えられるようなものに入れて いるものはオクないと言っている、言っておいた方が、DBの整理と合 う。
0:38:02	から、そうする。
0:38:03	コンテナはどっちに入るかって言ったら、
0:38:06	第 1 保管庫貯水所と同じかと言われたそうではないんで、
0:38:11	そうすると、屋外側に分類した方がいいんじゃないかと思ってそう整理し てくれたのかなと思っててそうすると屋内保管部って書いちゃうと、何か 誤解を生じるような、
0:38:23	気がして、朝聞きました。
0:38:27	すいません。セガワですけども、
0:38:29	フォー数、
0:38:32	の立場で語ると。
0:38:34	コースは建物の中、事故対処をやる前処理建屋等のしっかりした建屋 の中に保管されているコースと、
0:38:43	その予備として、外部保管エリアのコンテナに保管されているコース、こ の 2 種類があります。同じコースなんですけれども、
0:38:52	織田伊賀。
0:38:54	建屋内と建屋外の両方に保管されてるんですね。
0:38:58	それだからそれ、それが 33 ページが屋内の機器配管に、
0:39:04	この間の話にも分類されないといけないんじゃないかなって。
0:39:08	日本原燃の瀬川です屋内の機器配管としてもそれを論じてる。
0:39:14	そうだよ。はい
0:39:16	はい。
0:39:17	多分、今の不二家さんの成分は 31 万 6 が 1 杯関係で売ってるのに、
0:39:22	屋内保管分が出てくると何言ってんのかようわからんっていう。
0:39:27	日本原燃の世良ですですのでこれあれ、あれですね、その設計説明分 類の、
0:39:33	つけ方の問題になっていてですね、屋外機器配管と言いながら、
0:39:39	ここで語っての屋内設計のこと語っちゃってるん。
0:39:43	ですね。
0:39:45	なのでコースっていうのは本当は設計説明分類は 2 種類いるはずで、
0:39:50	屋内機器配管として残す等、屋外機器配管としてのコース、同じ建屋内 の同じ目的のコースなんですけれども、オカ場所が屋内外に分かれる ので、本当は 2 種類要るんです。

0:40:01	そういう設計説明分類に、やはり分けた方がですね、
0:40:05	読み物として非常に読みやすい。
0:40:07	そうで、すみませんねじゃさ。
0:40:11	前回、それは宿題になってて、やりますって言って宣言した話。
0:40:17	それができてないんだったらできてないって先に言って欲しかったって いう、
0:40:23	日本原燃の瀬川です。できてないのが実態です。はい。はい。であれば、ここの31ページの屋外機器配管のトップバッターにいる人が、
0:40:35	コンテナみたいに入る人と、外部衝撃から守ってくれる建屋に入っている人を分けて、それぞれ、屋外は、コンテナ屋外
0:40:47	守ってくれタテや屋内にそれぞれ分類して、必要な記載をするという理解でいいですか。
0:40:55	はい。日本原燃の瀬川です。はい。その通りです。
0:40:58	規制庁の藤原です今整理をつけていただいたんですけど、セガワさんの悩みってあれではないですか
0:41:07	機器リストのときに、一つのようなのに、二つ分類書かなきゃいけなくなるんじゃないかとかそういうのじゃないですか。
0:41:15	ご心配の通りのそこです。そこだけを、
0:41:19	懸念していて、まず今の分類1設備に対して1分類っていう原則に立って整理しようと思った時にはこういう文章の書き方で1回工夫できんじゃないかと。
0:41:32	トライしたのが、今日のこの資料の記載なんですね。
0:41:35	ただ、わかりづらいのはわかりづらくなっていつも思いながら、
0:41:39	作業してもらってる人たちもみんなですね。
0:41:42	迷子になりながらやってるので、
0:41:45	本当は自分のやった方がいいかなっていうふうに私は個人的に思います。それで人間のイシダでございませ設計説明分類の一番スタートの時におっしゃっていただいている通り何が、
0:41:57	どこに対応してるかっていうのを、設計説明分類一つの機器に複数つけてしまうと、整理が非常に難しい、煩雑になって帰って、何を言ってるか分かんなくなるっていう恐れがあって、設計説明分類は一つの機器が一つだという話をしましたで、
0:42:15	そのあと、審査会合でも説明して、前回ですかね、そういう整理でおかしくなるから変えてもいいという話をされ、していただいてですね。
0:42:25	今回は地上とひもづける時にやっぱり、
0:42:28	8条に展開するとき、何を持ってきたかがよりわかりやすくなるのは、屋内に外部衝撃を与える建屋に十分だったら、オクない。

0:42:40	そうじゃないものを屋外って分けた方が素直にも付けができるんじゃないかな。その時にもともと危惧していた一つの設備に設計説明分類が二つあると。
0:42:50	いうところ、そこを資料1での示し方も含めてケアをしないといけないですけど、どっちの実を取りに行くかという、二つあっても、それが仕分けをしっかりとできるのであれば、
0:43:03	その道を取るというのもありかなと思ってたところでした。
0:43:07	はい。規制庁のフジワラですわかりました一緒にこの文章を見た時にはやはりわかりづらくて、何回か読むとこういう悩みがあるんだっていうのは、今日気づいたところでした。私も
0:43:19	ていうかどこで悩ましいのかっていったところが、
0:43:23	理解をしてたんですけどそうですね今石原さんがおっしゃった通り、整理としてきちんとできるのであればっていったところと、一旦セットしたものにこだわり過ぎて、
0:43:34	なかなか説明がしづらいというふうになっても困りますので、その辺りは検討していただいて、ちゃんとお説明していただけたらいいのかなと思いますのでよろしくお願いします。
0:43:48	はい。
0:43:50	セガワで承知いたしました。はい。
0:43:52	規制庁の藤原です。
0:43:55	藤。
0:43:59	と、
0:44:02	すみませんちょっと今、
0:44:04	あと何を確認すべきかを考えてるんで他の方もしあれば、先に。
0:44:09	確認を進めていただければと思いますが規制庁側から、
0:44:12	ありますでしょうか。
0:44:16	規制庁の荒井ですけど、最初の質問にまた戻って先ほど同じような質問があったので、また確認なんですけど、結局、DBの設計項目とひもづける際に、
0:44:29	着目する視点とか、
0:44:32	作業っていうか、どういうところから、どう進めるのかっていうところを明確にしたいんですけど。
0:44:40	基本的には設計内容が、
0:44:43	設計対応内容が同じようなところに着目。
0:44:47	するけど、どうしても見つからない場合は、例えばさっき言った通り屋内屋外とかに着目して、半ば強引
0:44:57	な感じもありますけども、

0:44:59	そういったところで一番難しいところを探して入れてるっていうそういう理解でいいんですかね。
0:45:06	はい。日本原燃の瀬川ですご理解の通りです。はい。
0:45:10	はい。
0:45:11	そうすると、視点の考え方っていうのは、最初のDの文化田巻の最初の1枚書きのところに欲しいなっていうのと、あと今までやりとりがあった通り、この設計項目の考え方のところに、もう少し
0:45:29	多分原燃側でも作業迷ってる場合に、無理やり入れてる部分っていうのはあると思いますのでそういったところは、諸事情としては、もう少しちゃんと書いた方がいいのかなと思った次第です。以上です。
0:45:43	はい、日本へのセガワです。先ほど来藤原さんから、年末の整理から変わったところの考え方の説明もきちんとしてくださいねと言われたことの、
0:45:55	要求の、
0:45:57	プラスになる部分かなというふうに認識してございます。特にこの1滴分散ですとか、午前中も少し出たアクセス性、あと操作性、こういったものが、
0:46:08	デービー側の設計方針にはですね、明確におさまりが、設計が述べてるところは必ずしもないんで、そこに対してどういう考え方でこいつらをぶつけていくんだといったところは、きちんとですね、考え方まとめて、提示させていただければと思います。以上です。
0:46:37	規制庁の藤原です。私からあともう少し衛藤 38 ページの 41 番、
0:46:47	こちらの、
0:46:49	結局は
0:46:51	さっき、
0:46:52	今言ってたグループの考え方とかセキ項目の考え方とかですか、そこら辺りをちゃんと書いてくださいねの一つになるのかもしれないんですけど。
0:47:04	8 条の 19 番にひもづけてるその緑色の一つ目。
0:47:08	の、
0:47:09	糸賀理解ができなかったんですけどこれって何が言いたいかわかる説明してもらっていいですか。
0:47:17	はい。日本原燃の瀬川です。
0:47:20	再処理施設の場合、接続高っていうのは、発電炉と違って、建屋外壁というよりは、建屋の中、
0:47:28	の方に接続孔を設けて、それを相互に分散するというような設計になってるんですけども、接続孔に、

0:47:37	アクセスするための、
0:47:41	外壁にある扉ですね。
0:47:43	これは、
0:47:46	ナカに接続法があるとはいえ、その接続にアクセスするための経路としての扉っていうのが、やはりアクセス、接続に準ずるような位置付けになりますので、
0:47:57	そういったものの扉を念頭にですね、しっかり外部ハザードに対して分散しておかなきゃいかんと。
0:48:04	いけないよねということで、No.19 に紐づける、屋外の設計に準ずるようなものとして、No.19 に紐づけるそんな整理をやったのが、ここの、
0:48:15	No.41 の整理でございます以上です。
0:48:19	規制庁の藤原です。わかりましたあれですかね最初の方に話してたのす紐付け方としては、
0:48:27	考え方は一緒ってことですかね。
0:48:30	はい、関沢ですご理解の通りです。屋外で位置的分散するって言うてるものと、基本的な考え方は同じです。
0:48:41	うん。
0:48:44	イノウエ社でございます。ちょっとその部分がすいません今のセガワの話を聞いて私もちょっと勘違いだったんで、整理させてください。逆に扉だと言われてしまうと、
0:48:56	右側の整理がどうかっていうと建物の一部になっちゃうので、その分類額とのまた考え方が合ってるかみたいな話もまたちょっと弊害なりそうので、ちょっと整理をさせてください。
0:49:08	はい。規制庁の藤原です。
0:49:10	よろしくお願いします。
0:49:18	はい、わかりました。
0:49:21	衛藤。
0:49:23	そのあたり、検討いただけるということで、あと次に、すみません、結構飛ぶんですけど、93 ページの、No.92 の、
0:49:32	うん。なんですが、
0:49:39	92 の、
0:49:41	竜巻の、
0:49:44	19 人。
0:49:46	屋内機器配管ですね、これのう。
0:49:49	なのでしたから、
0:49:52	二つ目がおつきなしか緑のセルでいうと、



0:49:56	二つ分で、一つ目は、風荷重に対してってということなので、持たせますってということで 19 番あのあれですよ。アンテナの話なので、
0:50:06	風荷重にはもつんだけれども、設計飛来物の衝突には、もたないっていう部分だと思うんですけど、なので一つ目の風荷重の話の 19 番に紐付けはわかるんですが、
0:50:18	二つ目の、
0:50:20	予備品による復旧これが浅尾ちょっと言っていた、壊れちゃう。
0:50:25	ていうシステムを 19 番に紐付けていいのって話なんですけど、これはどういう考えに基づいて整理したんですか。
0:50:33	日本原燃の瀬川です。
0:50:35	19 の派生系、プラスアルファの対応だというふうにとらまえて、19 に紐付けました。19 はしっかり耐えること。
0:50:47	もしくは対策設備によって守ってもらうことというのが、ベースの考え方であるんですけども、そこに対して、どうしても耐えられないものに対しては、
0:50:58	運用の措置も講じた上でトータルで守りに行きますよと、プラスアルファの 19 をベースにしたプラスアルファの対応になるであろうと考えて、19 に紐付けたものになります。以上です。
0:51:11	規制庁の藤原です。アサノ疑問が多分解消されぬままな私の中でのもやもやなんですけど、
0:51:20	井出志田でございます。
0:51:23	一つもともとこれ構造設計、緑の枠が二つありますけど、構造設計としてみれば、これの組み合わせで多分、一つの設計方針だろうと。
0:51:37	ということをもともと考えていながら、
0:51:39	DPFと機能評価という視点で真ん中に物が入っているなのであの二つ分断されてますけどももとの首藤 は、これ組み合わせの話だと、設計大きな設計としてはですね。
0:51:53	そういう意味で、19 番に振ってますDタダ午前中のやりとりで、いわゆる予備品への復旧も含めた機能維持というのは、
0:52:04	一つはDBの世界には、但書かな、防護対象以外の安全機能を有する施設は、代替日、代替で何とかするか予備品への交換によって保守、
0:52:16	家によって機能を確保すると言っているもの、やってる声はそれと一緒にだろうと言いながら、結局ここは、屋外の設備に対して、まずしっかりと原則頑張りますという、中の一部の派生だという意味で同じ 19 は紐付けてたと。
0:52:32	ということなんですけど、座りが悪いのは認識をします。の上で午前中のやりとりを踏まえてどうするかをちょっと考えたいと思ってました。

0:52:41	はい。規制庁の藤原です。
0:52:44	よろしくお願いします検討いただけるということで、ここでDBと、
0:52:52	のところに飛ばして、一緒に説明するってことは、
0:52:56	コウ麻生設計が一近しいもの、同じような、同じ下のものとか、そういう系統で作っていきんだと思ってるんですけど、認識は一緒ですか。
0:53:11	はい。日本原燃の瀬川です認識は同じだと思っています。竜巻の19の方をとるとですね、デービーとしての屋外機器で風荷重に耐えるもの、
0:53:23	の、構造評価と、このアンテナっていうものは、構造評価は同じ観点であろうということでまとめて、構造説明評価の説明をしていこうというふうに考えております。
0:53:36	それがベースとしてあった上で、飛来物に対してはどうしても耐えられないんで、それは予備品と交換できるような構造になってます。先ほど石原が言った通りですね。
0:53:46	風荷重に対する対応と飛来物の予備品交換、この二つの対応をもって、アンテナが、竜巻に対して機能維持を図るっていう、
0:53:57	そういう整理で、そういう整理をしたところでございました。以上です。
0:54:03	はい。
0:54:10	諏訪。
0:54:10	飯野。
0:54:11	ちょっとやっぱり、
0:54:13	持たない部分、第予備品ですかっていったところはちょっと座りが悪いのかなっていったところは石原さんもそう思われていて、ちょっと検討するということだったので、
0:54:24	はい。
0:54:25	検討よろしくお願いします。
0:54:30	はい。日本原電の瀬川です。承知いたしました。
0:54:33	ちょっと認識というか
0:54:37	私の考えが誤っているとまたちょっと具合が悪いので1回ちょっと認識だけ述べさせていただきたいんですが、工程停止だとか、予備品と交換って謳っている設計が、竜巻にもNo. 4でございます。
0:54:54	でもあそこであつたのはあくまで安全上の問題がない、そういう安全上重要な施設以外の案いう機器が機能喪失した場合の対応述べているところでございます。
0:55:08	一方でこのアンテナっていうのは、ああいう安全上の機能は、が重要じゃない機器ではなくて、SA設備っていう、主役の設備になりますので、
0:55:19	やはりナンバー4。

0:55:22	工程とかあっちの方で整理するのは、ちょっと違和感があるなと思ったのが、今ちょっと感じたところでございます以上です。弓削ニシダでございます。一応、
0:55:35	私も考えを述べていくオクと。
0:55:37	言ってることは理解しながらも、いわゆる竜巻が事故の起因にならないとって、対応を変えているわけですね。それはまさしく防護対象が、
0:55:50	安重だと言って、その安重としてはその安全消毒ITが高く、かつ、外部衝撃に対して耐えないといけないという大前提の設計がある。
0:56:00	それ以外のやつだってタダクワタとしても大体あるし、機能確保っていう他の手段もあるということと停止、停止とかをすることによってある種、リスクが下げられるという程度。
0:56:19	規制庁の条例でちょっと修正。
0:56:22	イシコ。
0:56:24	イシハラさんちょっと切れてますね。切れてますって切れてるか、入れてないんですけど、通信が切れてるかな。
0:56:33	あれセキうてる通信切れてました。はい。はい。
0:56:37	お願いします。
0:56:38	事故の気にならないって言ってることで、あと事故時にならないから予備品で何とか頑張りますとか、交換しますとかって言ってるわけじゃないですか。それが、
0:56:49	Dの防護対象以外のやつの設計と結局は最終的にその事故の議員にならないからといっても、保全をするための期間の確保をしなきゃいけないとかってというのは最後やんなきゃいけないこと同様なわけですね。
0:57:02	だから最終的な設計の目的を達成しようとしたときには、あまり差別化できないから、そこに結びつけてもいいんじゃないのかなっていうのが、もともと考えてたこと。
0:57:13	はい。日本原燃の瀬川です。
0:57:15	ありがとうございます重大事故の要因とならない。
0:57:20	という、そういう前提をカセばですね、石原さんが言った整理も、
0:57:26	場合によっちゃありだなというふうに感じましたので、またちょっと相談させてください。はい。以上です。
0:57:33	はい。規制庁の藤原です。悩んだ中身というか、そういったところは理解しましたで、多分細かな話も、
0:57:43	29 とかに振ってるところとかがふわふわしてたのがもしかしたらそういう同じ悩みがあったのかなと思いつつ、
0:57:52	コバックの 29 番は色彩とかDP側では色彩とかの話ですね。

0:57:56	なので、いろいろと、
0:58:00	19なり29なりっていったところでの悩みがありふわっとしてたのかなと、今、
0:58:07	お話を聞いてて思いました。なので、その辺りは考え方を持って整理していただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
0:58:18	はい。日本原電の瀬川で承知いたしました。
0:58:22	規制庁ノジマした後ちょっと細かいところですが、確認しておきたいのが、110ページにある102番。
0:58:30	あ、すいません、103番。
0:58:34	イシコ。
0:58:34	その辺りなんですけど
0:58:40	3番、ちょっと今回緑色のセルの部分じゃない。
0:58:46	ところなんですけど、
0:58:49	あ、ごめんなさいちょっとここじゃなかった。
0:58:52	99番。
0:58:54	100ページでした。100ページの、
0:58:56	99番。
0:58:58	の、
0:59:01	屋外機器配管の
0:59:03	配置設計。
0:59:10	放送設計、すいません、構造設計
0:59:13	系のところ。
0:59:15	まずはすいません配置設計のところですね、配置設計のところ、屋外に設置する重大事故等対処設備は、以下を考慮した設計となってるんですけど、中の文章が、
0:59:25	建屋内に収納する設計って書いてるんですけど、これってどういう、まだあれですかね、江藤ブロー
0:59:30	人分のところなんで、整理が、
0:59:33	綺麗にできてませんっていうことなのか。
0:59:36	文章的にはできてるつもりなのか。
0:59:43	はい。日本原燃の瀬川ですまず文章的に練られてるかっていうと、練られておりません。竜巻で作ってるようなお作法言い回しに沿った表現ができてないというのがまず実態でございます。
0:59:56	これ先ほどのですね、
0:59:59	ちょっとしっかり、

1:00:03	内容を確認しなければというところではあるんですが、先ほどの可搬型設備、可搬型ホースですね、屋内にもいるし屋外にもいるっていう可搬型ホースと、
1:00:14	似たような問題をはらんでまして。
1:00:17	ダクトみたいな長尺物ですね、これは屋内に設置されてるダクトもあれば、それが外に出た屋外に設置されてるダクトと、両面を持っていて、
1:00:28	そこが悪さしているのではなかなか頭にすっと入ってこないのかなと感じております。以上です。規制庁の藤間です。わかりましたあれですかね、竜巻のところですね。
1:00:38	ていうところかというと国内外に跨るみたいな感じで整理されているところが、まだ文章としては綺麗にしきれてないっていうところなんですかね。
1:00:48	ご理解の通りです。はい。規制庁の白井です。わかりました。二つ下のところの二俣川の話のところなんですけど、この取水エグチ、
1:00:59	どこの部分。
1:01:02	の話。
1:01:03	なんですか。建屋側。
1:01:10	フタミ本郷のセガワです。うん。他は、建屋側ではなくても、まさに水を吸いついとろうとしている水中ポンプのところの話ですね。
1:01:20	規制庁の藤間さんわかりましたその際屋外に設置する重大事故等対処設備なんですか。
1:01:32	日本原燃の瀬川です。ちょっとまってください。
1:01:36	ちょっと、ちょっとおかしいかもしれないです。はい。
1:01:41	市長の岩谷シマダアノ検討中ということなので、その辺りもちょっと確認しつつ整理を進めていただけたらと思うので、そのぐらいで結構です。
1:01:54	はい。日本原燃の瀬川です承知いたしましたすみません。
1:01:57	何か常設おかしいですね。はい。はい。
1:02:00	相殺いたします。
1:02:03	規制庁の藤村氏、あと
1:02:06	後ろの方ですけど、確か 150 番台とか 160 番台 2、以前だと欠番があって、今回それがちょっと表示されるまま、
1:02:16	この資料作られてる気がしますので、抜け落ちてて大事なものが落ちているのかどうかはわからなくなるのでやはり欠番の部分とかはきちんと示していただきたいと思いますけどよろしいですか。
1:02:30	はい。日本原燃の瀬川です。重ね重ね申し訳ございません昨年末に整理させていただいた表現、
1:02:39	お作法に統一させていただきますので申し訳ございません。
1:02:44	はい。

1:02:45	規制庁の藤原です。
1:02:48	藤。
1:02:49	一応、この資料で私から確認したいことは以上ですけれども、規制庁側から他に何かあればお願いします。
1:03:01	特に、
1:03:02	ないようであれば、次の資料に行くのがいいのか先に、次の資料について最後に、両方とも振り返りしましょうか、でいいですかね。
1:03:11	そう。そう。お願いします。はい。では次の資料の方でお願いし、
1:03:22	はい。はい。大丈夫です。はい。じゃあお願いします。
1:03:26	はい。規制庁の荒井ですけど、確認という前に、午前中説明して、
1:03:33	こちらがしたようにですね、
1:03:36	原燃として何が、
1:03:38	足りないのか、そもそも何が相談したかったってところ。
1:03:42	を、説明いただきたいと思うんですけどいかがですか。
1:03:50	日本原燃の石黒でございます。
1:03:54	当初、午前中に話をする段ではですね、一応 19 年の 12 月にいただきましたコメントに対して、
1:04:05	それなりに行き資料充実させてやってきてっていうようなつもりではいたんですけれども、なので、その様を見てもらって、残り展開というような話にさせてあげたと思うんですけども、午前中、
1:04:23	そもそも設計方針というものが読めるような形で書いていないと。
1:04:27	言っていたいたところとかですね、寸法とかについても載ってないんじゃないかといったようなところもあってで、
1:04:37	今の
1:04:40	ダイトウですね、共通中における作成ガイドっていうところについても言及していただきまして、ちょっとざっと読ませていただいたわけなんですけれども、
1:04:51	細かになっていうところまで書いてるわけじゃない姿勢をですね。
1:04:55	その要求事項がある場合は、相互に達成するための設計となったことを確認するとか、検査の観点だとかですね、いろいろヒントは書かれていて、そういったところに対する配慮というのが必要なのかなというふうにはちょっと認識はしているんですけども。
1:05:12	そういった意味ではですね、今日この場と、ちょっと安里スタッフちょっと変わってしまいますけれども、
1:05:21	規制庁さんの方で、この間も含めて、気づいたものについてはですね、1 度、
1:05:30	おっしゃっていただいて、さらにはショップしていくための、

1:05:40	いい加減にしていきたいなという。
1:05:43	運用も認めますので、目的としましては、一旦こういった形で進めたいというふうな思いがあったんですけども、それはちょっと午前中の考え、ヒアリングで、
1:05:55	改めてますので、
1:05:58	ご意見いただいて言っていただけならというふうに考えております以上です。
1:06:05	規制庁の荒井ですけど。
1:06:08	足りないところを、
1:06:12	いう。
1:06:13	ていうのは
1:06:15	MOXの、
1:06:16	グループ1の確認もしているので、規制側としては、ある程度できると思ってるんですけど、
1:06:25	そこをどのように具体的に反映していくかっていうのは、今のやつだと、さらっと。
1:06:33	ガイドに言及したのみで、ガイドを噛み砕いてどうやっていくかっていうのがそれぞれの項目に対して、見えてこなかったんで、
1:06:43	例えば、何か1例を出して、
1:06:47	これはこれだけじゃなくって、ゴコウコウ拡充していったりとか、明確化するべきところが、
1:06:56	もう隠れていたんで、そこを明らかにしたいとか、そういうところを聞きたいんですけど。
1:07:05	いかがですかね。
1:07:20	例えば、
1:07:22	4ページ目ですか全部のページで、この右下だと3ページ目で、PDFの投資だと4ページ目で、
1:07:29	午前中、
1:07:30	本当にこれだけなんですかっていうところ。
1:07:34	がありますよね。
1:07:37	本来なら、具体的な構造設計、
1:07:42	等として、
1:07:43	何を指名する。
1:07:45	のがいいのか、この
1:07:48	固縛装置っていう、固縛装置の構造設計っていうところで、
1:07:52	例えると、
1:07:54	どこまで風呂敷を広げてどう示せばいいのかっていうところの、

1:08:00	考え方なり、
1:08:02	拡充の方針なりってところを説明いただきたいんですけど。
1:08:17	あれイシハラさんしているんですか。
1:08:22	行きます。石原でございます。はい。
1:08:25	まず、ちょっと私も追いつけてないですけど、木場空に対するもともと要求事項はSAM先ほどあったように、あるはずで、それに対して、
1:08:39	要求事項を達成するためにどういう固縛の方法をやっているのか。
1:08:44	竜巻でも、SAでも当然
1:08:48	固縛のやり方っていろいろ種類があって、それはそれぞれいろんなことを考えて設計をしているので、そういう設計を具体的にブレークして、要求事項との関係を紐付けしていくと。
1:09:01	ということだと思いますでプラスこの固縛ウノの場合は、竜巻だけではなくて、耐震のことも考えなきゃいけないとかいろんな要素があるのでそういうのをちゃんと関連条文との関係で紐づけて、
1:09:12	説明をしていくということが構造設計の中では必要なこと、それがガイドに書いてある要求事項をまずちゃんと全部上げろってそれを、要求事項との関係で、対象になる呉コウ構造設計をしなければいけないものに対して、
1:09:29	Vだったり系統だたりの構成との紐づけをして、さらにそれを、要求事項を達成するためにどういう設計をするかっていうのを分、部材なんかにはちゃんとブレークをして展開をしていくと。
1:09:42	最終的にはどういう設計するかは、検査での確認の方法ということも確認しているということも考えて、そのブレークの仕方を、整理をすると。
1:09:52	というのがもともとガイドに書いてあること、それに従ってやるっていうのが、基本この3ページであれば、できてないと、いうことかなと思います。ただ代表が本当にこれだけでいいのかってのは、
1:10:04	電力さんの竜巻の添付書類でも多分、いろんな分類を分けて、固縛については説明しているはずで、そういう対象物をちゃんと挙げて説明をすると。
1:10:15	いうことかなと認識をしてます。
1:10:19	はい。
1:10:21	ありがとうございます。
1:10:22	おそらく、まず八条だけじゃクローズできないっていう点が出てくるっていうのは、多分認識いただいているのかなとは、
1:10:32	認識していただかないといけなかなって思ってた、それで八丈単体だけで考えたとしても、
1:10:41	固縛の種類とか、まずは固縛の対象って何だっっていうところと、



1:10:46	あとはそもそも、
1:10:49	設計飛来物になり得るものの対象って何だっけってところからひもといかないと説明しきらない。
1:10:58	のではないかってところが、
1:11:00	あってですね。
1:11:02	その点外部事象については、第1回の
1:11:07	申請。
1:11:09	実績があるん。
1:11:12	でしょうから、その中で、添付書類の項目とか、
1:11:18	あとは補足説明資料どう展開したかっていうところまで、大分、MOXの今のやってることと違うヒントがあるにもかかわらず、そこまで風呂敷が広げられていないっていうのが、
1:11:31	どれを見ても、共通していえることだなと思いますので、
1:11:36	対応をよろしくお願ひしたいと思うんですけど、ここまです理解が追いついていないところとあってありますか。
1:11:47	表現の終了でございます。はい。おっしゃっていただいている意味は、はい理解はさしていただいておりますちょっと
1:11:58	今回1度11月に出したところからですね、そこまでのそのあと、
1:12:07	麻生と同じタイミングでガイドを並行して作っていったんですけれども、それと当ガイド中身もそうですし、その過去のボックスとかの展開っていうところもですねちょっと今考えられてなかったっていうのは理解しましたので、
1:12:23	承知いたしました。
1:12:47	規制庁カナダアライさん。
1:12:49	音声はい。
1:12:51	でないネットワークですか。
1:12:53	規制庁新居ですミュートになってました。すいません。
1:12:57	いろいろしゃべってたんですけどずっとミュートだったんで、結局、
1:13:03	竜巻に関して言えばですね、
1:13:10	先ほども言った通り第1回の申請の蓄積があるってところで、そこで添付なり補足なりが整理されているってところもちゃんと紐付けてですね。
1:13:20	最後の方にも竜巻対策設備の概要図とか、説明書きみたいのがあるんですけども、
1:13:28	この共通12の中で、代表として選んだものの基準適合性が示せるようにですね、ある意味これが代表設備の申請書だと思ってですね内容変えていかないと、

1:13:41	到底終わらないような気がしてですね。
1:13:44	その上で共通中については設計上考慮している要求事業とか、あとはそれを具体的に達成するための構造とかってところを、
1:13:56	さらに、おい、掘り下げていってですね、書いている。
1:14:00	資料だと思いますので、ちょっとそういう頭ところに留意してですね作業を進めていただければと思います。今回のものっていうのは
1:14:10	とりあえず、過去のヒアリングでのコメントを、
1:14:16	変え返せるだろうというコメントに対して、パッチワーク的にこのコメント返しました。以上ですってところが、
1:14:27	ほぼほぼ、
1:14:28	何て言うか示したいことだったのかなと思うんですけどもやはり先につなげるために、今後どうすればいいのかっていうところをスコープに当ててですね、いろいろ作業をしていただければと思いました。以上です。
1:14:44	本件の仕事です。いろいろご指摘ありがとうございます。
1:14:49	すべて理解していただきましたので、ちょっと今後対応させていただきたいと思ってます。
1:14:55	以上です。
1:15:02	規制庁の新居ですけど。
1:15:06	を、
1:15:07	ワーワーと、
1:15:09	細かい点。
1:15:12	とかで言うとあんまり、
1:15:14	なくてですね。
1:15:22	うん。
1:15:23	そうですね
1:15:30	何コメントしたらいいかってところが現状なんですけど。
1:15:41	例えば安全避難通路なんかも、
1:15:43	8 ページ目。
1:15:45	この資料、右肩言うと7 ページ目に示されてるんですけど、
1:15:50	そもそも避難用照明が対象とか、
1:15:55	異常等という同等の使い分けとか、
1:15:59	近畿建築基準法にどう準拠して何をもって満たしているのかとか、
1:16:05	電源喪失における電源系統の説明ってどこでするのとか、
1:16:11	そう、他の条文で説明するのであれば、しっかりリンクを取ったりとか、
1:16:16	していただいて、網羅的にですね、ここで示しますよっていうのは示せるように、
1:16:22	しっかりと

1:16:25	紐づけを行っていただければと思っています。
1:16:30	特に私からほかありませんので、以上です。
1:16:36	日本原燃の首藤です。ご指摘ありがとうございます。ちょっとこの部分です、設置と廃棄場所というようなカテゴリーで変えていったところもあったのかもしれませんが、
1:16:48	その辺の機能に対する脅威というか脅かすような場面に対してどういう設計をしてるのかっていったところに対して、ここで、
1:16:57	言及すべきなのか、オカで言及すべきかどうか含めてですね、そこはちょっとしっかりと確認はさしていただいて、資料2、
1:17:09	落とし込ませていただきたいと思います。以上です。
1:17:13	はい。
1:17:14	規制庁荒井です。既存の、
1:17:17	添付資料とか、不足とかあるかも。
1:17:21	あんまり記憶はないですけどあると思いますので、そういった項目とかもしっかり見ていただいてですね、共通中にどう落とし込んでいくのかっていうところを、検討いただければと思います。以上です。
1:17:37	日本原電の石黒です。承知しました。
1:17:40	規制庁甲斐です。ちょっとだけ私からも、午前中もあった話の中で今アライも、いろいろお伝えしたところでしたが、実際のところを今回、説明グループ1を、
1:17:54	前回のヒアリングを踏まえてコメント反映するっていうふうになったときに、この資料3で結構いろいろコメントが出た状況の中で、
1:18:05	作業ガイドを作成している途中ということもあったのかもしれませんが、MOXの説明グループ一井で資料3を対応した方々とのコミュニケーションの状況とかはどうだったんでしょうか。
1:18:30	日本原燃の首藤でございます。
1:18:33	ババ数に関しましては、
1:18:37	ヒアリングも同時並行的に行われていてですね
1:18:42	私、ちょっと参加したりしなかったりっていうところもあったんですけども、
1:18:48	この途中段階です、そのボックス、特にアノイシハラ含めて、
1:18:56	資料を見てもらうというようなことはしてたっていうのはちょっと認識はしてるんですけども、ただですね、
1:19:03	須藤とは言いながら僕との差があるっていうのはわかっていてですね、その辺ちょっと
1:19:10	十分キャッチアップできていないっていうのが今の実態なのかなというふうにはちょっと認識しているところです。

1:19:18	規制庁かですね、MOXと差があるっていうことを、こう詰めていこうとする。
1:19:24	アクションは、
1:19:26	オカ後今回提出に至るまでに、そういうところを詰めるっていうところの具体的な話を、
1:19:36	伺いたいんですが。
1:19:48	はい。日本原燃の新保でございます。
1:19:51	そちらにつきましてはですね、いただいたコメントに対してはですね、
1:20:01	赤、しっかりと
1:20:04	これに落とし込んでどういう会をしていくかっていうところの中でやっていた、あって、
1:20:09	どうしてもですねSd-Dの方の話とかも、12月後半ぐらいから入っていて、一部の人間っぽい注力しつつ、
1:20:20	一部の人間をちょっと、資料3-2をブラッシュアップっていうところではあったんですけども、
1:20:27	ちょっと私自身がですね、ガイドに書いてあることを、ちょっと遅いんですけども十分把握できていなかったっていうところもあってですね。
1:20:37	今のところ、このレベルでの、
1:20:42	展開っていうのが十分できていなかったというふうには思いますので、ちょっと提出まで時間はあまりないかもしれないんですけども、
1:20:52	しっかりそこはちょっとキャッチアップできるような対応をさせていただきたいというふうに思います。以上です。
1:20:59	はい。規制庁岡です。
1:21:00	今日のヒアリングで、この図に対してコメントを受ける前に、そちらでしっかりその不足している部分を認識して、
1:21:11	修正されるっていうことでよろしいですか。
1:21:16	日本原燃首藤であります。おっしゃる通りです。今、今日いただいたコメントもちろんあるんですけども、そのコメントいただいているページについても、同じようにコメントを受けたというふうな、もしくは
1:21:30	ガイドに記載している内容について、改めて確認して、
1:21:36	最後どこまでっていうような話は、最後あるのかもしれませんが、それに則った形で資料を提出できるようにするという理解をしております。
1:21:45	はい、規制庁ヶ月わかりました。
1:21:52	再処理側でも、ガイドを今揉んでいるとかそういう状況はあるんですか。

1:22:04	石田でございます。再処理の状況、作業しながらですね、わからないところがあるんでここはもうちょっとブレークしないとみたいな話があればそれを手直しするのは
1:22:17	再処理の中に入ってる、私がやらないといけないという作業分担に今なってます。はい。ただそこまでの話がキックとして上がってきてないので、
1:22:28	実際、そこはもうちょっと丁寧にケアをして、
1:22:33	いかないといけないかなと。
1:22:36	私個人的にはあそこまでガイドを変えて、そのサンプルになるものをM OX出会だけ詰めば、
1:22:43	できるだろうと思ってたのは実際です。はい。
1:22:46	はい。規制庁甲斐です。今回、水原さんは、確認されたん、されて不足しているってということも認識されてたって、元おっしゃってましたよ。
1:22:58	はい。弓削イシダでございます。正直に申し上げますと、出た後に言いました。はい。出る前に見てないです。かつ、見た結果としてはおっしゃっていただいているように、先ほど申し上げた通り、
1:23:11	高額のやつをとっても、明らかに足りない、かつ、気紐づけて、関連条文ですね、とひもづけも含めて、かつブレークという意味でも足りてないという認識です。はい。
1:23:22	はい、最長かですかありました。じゃあ、修正、そういう、もっと大枠で修正されるということで、検証しました。ちょっと、
1:23:32	幾つかよくわからなかったところを確認したいんですが、
1:23:39	今後のブラッシュアップの参考にさせていただいても結構なんですが、
1:23:43	通し5ページ目の、今朝、今朝の午前中のヒアリングでもちょっとあった、通しの方で伝えていきます。通しページ振っていただければと思いますので、
1:23:54	お願いします。
1:24:01	通し5ページ目の落雷の設計なんですが、
1:24:07	大川さんの音声が聞こえあったのはこちらだけかな、あ、
1:24:11	あ、すみません、いいですか。
1:24:13	はい、わかりました。はい。はい。
1:24:16	通し5ページ目の落雷の話で、今朝午前中もちょっとありましたが、
1:24:22	ここって、なぜ、
1:24:26	統合という形をとったんでしょうか。
1:24:34	日本原電の石黒でございます。
1:24:37	こちらこれ以外にも同じような図を
1:24:44	複数のその説明で用いているというところがあって、

1:24:48	そもそも、
1:24:53	同じようなツーズ説明できるのであればですね。
1:24:58	類型化して統合するなどって言ったようなやりとりも、この日していたものですから、
1:25:05	説明としてはまとめられるんじゃないかなというふうに考えた次第というところではあります。
1:25:14	はい、規制庁からです。第、こちらのコメントの伝え方、
1:25:18	が見悪くて、ちょっと、
1:25:22	コメントの趣旨を、
1:25:24	十分把握できなかった恐れがありまして、
1:25:28	構造図で説明しなきゃいけないもの、システム設計で説明しなきゃいけないものっていうのは、設計センターの説明すべき項目、ディー・ディー・エスの方でも話題になってた年末に、
1:25:39	検討したところで、しっかり整理した図でその資料2という形で、
1:25:46	今まとめられてると思うんですが、
1:25:49	それで、同じ図です。
1:25:53	説明してたから、
1:25:56	説明を
1:25:58	システム設計という形で一本化する構造の情報は、
1:26:04	図で説明すべき情報というのは資料2の方でまとまっていて、
1:26:10	そのあとも、節、設計項目点から、
1:26:14	まとまっているのに、
1:26:17	何で落とす。
1:26:20	落とすことを統合と言ったのかなというところだったんですが、
1:26:24	その辺の認識って、
1:26:26	今はいかがですか。
1:26:35	原電の石黒です。
1:26:38	そうですね。
1:26:41	説明すべき内容と、構造で説明すべき内容っていうのは、当然異なっているものでして、おそらくですけども、
1:26:52	説明が、
1:26:55	十分な記載になってないというところで、
1:27:00	紙面が
1:27:03	書くスペースもあるだろうっていうところで、統合したという、安易な考えがあったのかなというふうに思っております。もともと別々ですね整理していて、
1:27:14	先ほどのそのガイドも含めてですけども、

1:27:18	書くべきことを書くことで、
1:27:21	分けた方が、結局、
1:27:24	情報量としてもですね、その整理としてもよくなるのではないかなというふうにはちょっと考え直しているところです。以上です。
1:27:31	成長からです分けた方が良くなるのではないかなではなくて、構造設計として説明すべきことと、システム設計として説明すべきことっていうのを、
1:27:42	説明すべき項目っていうことで、
1:27:46	しっかり認識共有していて、
1:27:50	例えばこのページであれば、ちょっとどういう、
1:27:55	今構造設計で説明すべきこととシステム設計で説明することってそちらで回答できますか。
1:28:21	はい、日本ヨシダでございます。私の今の現状理解でいくと、システム設計自体は、落雷を受けて、そのあと耐雷設計として、
1:28:33	平石だったり、接地網への接続の値上げ統制も含めた全体の流れ、有効な系統構成をするのかというところがシステム設計に当たるのかなと。それは、
1:28:46	最初の基本設計方針からすれば、270 キロアンペアを受けるところと、それ以外のところみたいなものの仕分けも含めて、構造的システム設計上の違いがあるかどうかで代表選びにいくんだろうと。
1:28:59	一方構造設計になると、そういった系統設計をしているものそれぞれのパーツに対して、どういう構造、材料がどうでなきゃいけないのか、どういう構造でないといけないのかっていうのを、
1:29:10	ブレークして整理をしていくと、それはもともとの系統設計なり、構造設計のもとになってる要求事項との関係で、この目的を達成するためにこういう構造でないとならないというようなことを説明していくというふうに認識をしています。
1:29:26	はい。
1:29:28	規制庁かです。石原さん変わってしまったっていうところが、
1:29:32	不安ですが、説明すべき項目を整理しながら共通認識を持った点もそういうふうに整理されていて、いざ出てきてみたら、同じ図で、前回ですね、同じ図で、
1:29:46	何かどっちがどっちを説明するのか曖昧だったと。
1:29:51	だったら、それぞれ、ちゃんと説明すべき項目を、
1:29:56	どういうものなんだっていうのをちゃんと整理して、それぞれで説明してくださいが、このコメントの本来の趣旨だと。
1:30:07	認識していただきたいんですが、

1:30:11	そこら辺、伝わりましたでしょうかというところ。
1:30:16	はい日本原燃の石黒です。失礼いたしました。
1:30:20	ちょっと図が同じということで統合ということではなくてですね、
1:30:25	そもそものシステムというのは系統全体で果たすべき役割もしくは要求に対してどうかといったところをそれぞれに対して、
1:30:36	どういう設計をしてるのかっていうのを書くというのが目的であって、
1:30:42	あの後、
1:30:44	統合するかどうかっていうのは、これそれが問題じゃないっていうのはヤノよ。よく理解しますと、個々のケースがどっちがいいのかっていうのはちょっと今ここで申し上げませんけれども、
1:30:54	少なくとも、構造というところに対して、検査も含めてどこまでの情報が必要なのかといったところをですね要求事項に照らして、
1:31:04	整理させていただきたいと思います。以上です。
1:31:07	はい。規制庁岡です。
1:31:09	おそらくこういうところが結構多くて前回何。
1:31:14	息子まずでは何を説明すべきかっていうコメントをたくさんしたとっていて、これがたい対応方針になってきたので、こちらとしてはちょっとこれはっていう、
1:31:26	ところでした。かなり今回のさ、対応方針としてはサンプルとしてよくわかったところでしたが、こういうことのないように次の版では、
1:31:38	配慮いただければと思います。
1:31:42	似たような話が次のページの仮設ラインの方でもあって、
1:31:46	これもちょっとコメントの趣旨をコウ、
1:31:49	やっぱり、
1:31:50	理解されてないというか、何か対応が、
1:31:55	すごく表面的な印象を持ってしまして、
1:32:01	本来の趣旨は、それぞれの緑枠が、
1:32:08	どういうときに、
1:32:10	必要だからつけるのかとかそういう考え方を、
1:32:14	聞いた。
1:32:16	ものであって、かつ、こういうふうに複数のものが、対応である場合はアンドなのか小穴のかとか、そういったところもちゃんと明確にしてください。だから、
1:32:30	使い分ける条件がわかるようになってというような発言をメモったんだと思うんですが、対応方針は、鞍部なのかわなのかは、
1:32:39	ほとんど不明瞭で、
1:32:41	かつ、



1:32:45	とか、
1:32:47	うん。
1:32:49	うん。
1:32:50	追加された架空の文章も、色、これどこから持ってきたのかって今言えますかね。
1:33:01	すいません。イシイムラですけど、体育館側で、この文章の出所って言えますか。
1:33:16	少々お待ちください。何か入所、合体してる感がある。
1:33:21	規制庁からですいろんなところを寄せ集めて、ほとんどコウなんか、何を説明してるのかわからなくなっているってところで、かつ継続整備系統す。
1:33:33	施設に対して光伝送ケーブルの話をしていたりするんですが本当にこういうのってあるのかっていうところとか、
1:33:41	あと、もう、または、及びの使い方が今になって本当に、
1:33:47	小穴の家アンドウなのかが一番曖昧な状況で、
1:33:50	終わってしまったたり、
1:33:53	している状況です。
1:33:56	計測制御系統施設に対して、
1:33:59	どういうケーブルがどういう、アナログとかデジタルがどういうふうに、
1:34:04	考えて設置されていてそれに対してアナログに対しては、どういう対処をしたか。
1:34:11	デジタルに対してどういう対処をしたかっていうところを説明してくださいっていうふうに、
1:34:17	伝えたのに、
1:34:19	曖昧な表現の
1:34:22	増えてきてしまったってところで、
1:34:26	あまりコメントの趣旨、
1:34:28	もう何か理解されてる感じも受けなかったんですが、
1:34:33	アノでこういうところがかなり後ろまで続いているっていうのもありまして、
1:34:38	この辺は認識いかがでしょうか。
1:34:49	表現の仕事でございます。
1:34:54	おそらくですけども、12月6日のヒアリングの時には、もう少し、
1:35:00	これはもう、詳しくですね、
1:35:04	主旨を、
1:35:05	おっしゃっていただいていた。それに対する対応についてもイシハラの方から話をしていたと。

1:35:13	私もその場に記憶はしておりますので、
1:35:17	ちょっと、結局、最後の振り返りの時の、
1:35:23	表現にとらわれてしまって、かなり検討範囲が矮小化されてしまってるのかなっていうちょっと、改めて反省をしておりますので、ちょっと認識としましては、
1:35:33	先ほど言っていたいただきましたように、なぜ、この設備一つ一つが必要なのかっていったところまでブレークしてその系統での要求、
1:35:44	別にそれぞれの
1:35:47	単品単品ごとに、どういった目的でついているのかっていったところがその要求事項に照らして、説明できる形にする必要があるというふうに認識いたしました以上です。
1:35:58	はい。規制庁岡です。はい。まさしくおっしゃっていただいた通りで、そのコメント化してしまうときに、
1:36:07	何か簡略化されて、且つそのコメント化されたものを、受け取る側作業者はさらに、
1:36:15	都合よく、受け取る、
1:36:18	イメージがあって、なので何か、
1:36:23	どの対応に関してもすぐコメントとその趣旨に合った対応方針になっ
1:36:30	てないなという。
1:36:31	大体狭い対応になってるなっていうところを感じていましたので、そういう目でもう一度全体を見ていただければと思います。
1:36:42	よろしゅうございます。承知いたしました。また 12 月 6 日の
1:36:47	時のですね、あのやりとりも、しっかりちょっと作業把握させる必要があると思いますので、その点もちょっと対応したいと思います以上です。
1:36:57	はい、規制庁課ですよろしくお願いします。
1:37:00	あとちょっと技術的な対応って今回とられた 14 ページ目。
1:37:06	年で 14 ページ目なんです。
1:37:15	ここがちょっと意味がわからなくてですね、
1:37:22	説明。
1:37:24	したいことっていうのはまず何ですかね、上側だけでいい。
1:37:28	植野。
1:37:31	可燃性ガスが漏えいした場合においても低アノ停滞しない構造とすることを説明しなきゃいけない図なんですけど、実際のところを何を説明しているんでしょうか。
1:37:44	はい日本原燃の石黒でございます。ここでは、金生活というのが、通常の空気よりも、家族情報人口っていうところで、

1:37:56	そうやれずに伝って、最後がらりを通じて、自然対流的にですね、排出していくということで、
1:38:10	室内に、この可燃性ガスが止まらないというような、
1:38:16	建屋のその構造といいますか。
1:38:19	換気というエビナのかもしれませんがそのような形状しているということ、
1:38:23	説明しようとしていると、いうこと。
1:38:27	になります。以上です。
1:38:29	はい、規制庁課です。自然対流で換気されるっていうことを説明したいということであれば、まず緑枠のところは、基本設計方針の裏返しではなくて、
1:38:41	具体的にどういう対策をとっているかっていうことを書くところなので、まずはそういうことを書いてくださいっていうのが前回のコメント。
1:38:49	です。まずそこはいかが。
1:38:52	日本原燃の石黒です。はい。おっしゃる通りだと思っております。すいません、成長からですねその上でなんですがこの対策って本当に、
1:39:03	成立しますか、金スギタつって一般的には空気より基準は重いもので、
1:39:09	対ソヤ、メタンとか都市ガス系。
1:39:12	ぐらいしか、
1:39:14	軽いものってないんですが、ここのカナイ生活って、
1:39:17	代表として具体的に何か、何を想定されて、一般的に、
1:39:24	空気より比重が小さくなって書いてるんでしょうか。
1:39:49	すいません日本原燃の石井です。
1:39:52	すいません。体育館側、こっち、
1:39:55	この辺にさせていただいてる方、いらっしゃいますか。
1:39:59	すいません。日本原燃清水です。衛藤。
1:40:02	軽いものだということはわかってるんですが具体的なものをちょっと今、すいません確認中ですので少々お時間ください。
1:40:09	はい、規制庁です。内容のヒアリングはまた別途あるので、それまでに準備していただければと思うんですがコウ区、
1:40:17	ミキより比重が小さくって書くのであれば具体的にやっぱり可燃性ガスは、
1:40:22	何を想定していて、かつ、全施設の可燃性ガスはすべてその日空気より中が小さいものなのかっていうこととか、そういったところを
1:40:33	聞いていく必要がありますのでそういうところのしっかり説明を付け加えていただければと思います。
1:40:42	日本原燃石黒です。長期化し、した。

1:40:45	言いつ放しにならないようにですね、
1:40:48	しっかり必要な情報根拠なり、示していかないといけないと思います。以上です。
1:40:54	はい。規制庁角です。で、あと、ちょっとこれも、
1:40:59	記載が気になったところなんですけど通しで 19 ページ目の話で、
1:41:10	はい。
1:41:11	で、ここのオイルダンパーの説明をしている右上のところなんですけど、まず、オイルダンパーっていうものに対して、電流が、落雷電流が、
1:41:24	どういう影響を与えるのかっていう観点では整理されてるんですかね。
1:41:49	日本原燃清水です。すいません。すいませんでした。
1:41:53	悪さをしないという観点でちょっと書いたんですがそもそもオイルダンパーの、制振性能に影響を及ぼす観点でちょっと整理ができてないんですいません。
1:42:04	はい。規制庁岡です。何かそういう論点をしっかり整理して、こういう観点では、
1:42:13	こういう対策をとっているこういう観点ではこういう考えで問題ないっていうことを、
1:42:20	明記していただかないと、ヒアリングで何度も重ねて聞くことになってしまいますのでまず、論点 7 の何なのかっていうところをしっかりと明記していただければと思います。
1:42:34	清水さんのおっしゃる通り、
1:42:36	あとちょっと下の方、左下新しく追加された飛来物防護盤側の、
1:42:44	設置の考え方なんですけど、こちらは設置網には、
1:42:49	同じ設置局には接続しない。
1:42:52	方針ということなんですけど、
1:43:02	日本原燃メキです。こちらにつきましては主はイトウ、
1:43:07	藤堂様に構内の接地系に隣接することで今考えております。
1:43:12	一応、違うことを書いてます。
1:43:20	日本原燃一緒ですメキさんだから、
1:43:24	選ばないと説明できないよって言ったから、結局、つなぎますっていうことにしましたってこと。
1:43:34	磯層お待ちください。
1:43:39	日本イシダでございます先ほどの精製建屋のボンベコウアノが以下 03-7、表見る限り次長動物は水素になってます。
1:43:50	はい、規制庁笠野サンプルとしてそいつを上げたということで、しっかり水素だから、フェーズが小さいですねという上で、全体を通じて、本当に比重が軽いものしかないのかだから、

1:44:03	代表になるのかっていうことだけは、
1:44:06	しっかり検討いただくということ。
1:44:09	はい。二本木西尾でございます三本。そういう意味でも、今回から予算の中でも危険物としての扱ってるもの全部リストにして、どういう物質を扱ってるか書いているので、それをもとにちゃんと
1:44:22	取り扱いだったり、構造設計の反映に差がないのかどうかというところで、代表云々の話も整理していくということで認識をしました。
1:44:32	はい、規制庁からよろしくお願いします。
1:44:43	ちなみに今、
1:44:45	どういう状況でしょうか。
1:44:47	こちらの、はい。日本原燃メキですけども、先ほどの設置局の件ですけども、こちらの竜巻から、
1:44:54	竜巻防護から設置下げまして都市廃棄等の設定に繋いだ上で構内の接地系につなぐことを今、考えております。
1:45:04	はい、規制庁課です。今の説明だと、雷撃電流を大事に放電する設計だから、
1:45:12	構内接地系に接続しないでただ設置局に設置するというふうに書いてあるので、もしそういう考えに変わったのであれば
1:45:21	次のババ版ではちゃんと適正にさせていただいて、かつ、
1:45:26	悪影響を与えるとかそういうことを、
1:45:30	少し書いてます。
1:45:31	はい。そういう配慮をお願いします。
1:45:35	日本原燃メキです。はい。確かにちょっと設置につなげるのが見えないのでは、わかるように記載の方、セキします。
1:45:42	はい。規制庁加瀬です。あとちょっと対応方針として気になったところで、20 ページ目、通し 20 ページ目の竜巻防護対策設備の設備構造で前回
1:45:54	言ってるところと塗ってないところの考え方みたいなもの
1:45:59	一部、部材の中で塗ってないところあるんじゃないですかって聞いたときに、やっぱり部材違うんですよっていう、おっしゃってそこを説明してくださいっていう。
1:46:10	明記してくださいって伝えたコメントの対応が、今まだ緑で書くて部材が違うって、出張だけが書いてあるんですが、本当にこういうところが、
1:46:24	部材が違うと判断し、できるのかとか、そういう説明をするのであれば、ズームアップにし、
1:46:32	國西でそういう

1:46:34	部材が本当に変わってて、ここまで塗ってます、ここまでは言ってます、ここからは抜けませんが、わかるような対応するっていうのがおそらくM OXなでもやってきたような話。
1:46:44	うん。
1:46:45	こういう不明瞭なところでコメントを受けて、主張だけこう書いてくるっていうような対応っていうのも、やっぱり結構多いんじゃないかなと思うんですがその辺いかがですか。
1:47:01	はい。日本原燃清水ですおっしゃる通り、
1:47:05	しっかりこの部構造がどうなっているのかというのを構造設計としたししっかり締めお示した上で、火災中心との関係も踏まえてご説明する必要がありますと。
1:47:15	いうふうに考えますので、はい。しっかり対応させていただきたいと思います。
1:47:20	はい。規制庁岡です。よろしくお願ひします。この部分だけではなくて今まで聞いた不明瞭なところっていうのを、ちょっと不明瞭で聞かれたから、明確化しようっていう考えのもとで、
1:47:32	説明を追加いただくっていうことで、それぞれのコメントに対してそれぞれその部分だけ対応するのではなくて同じ観点でないかなっていうことをしっかり、
1:47:43	対応いただければと思いますのでよろしくお願ひします。
1:47:47	私から以上ですが、はい。
1:47:52	規制庁の橋村です。
1:47:55	では、
1:47:58	特に二つ目の資料のところでももう形状がわからないですかね。
1:48:04	なければ先にやったディー・ディー・エス製の分も含めて振り返りをしたいんですけど、一旦休憩取る方がいいのかこのままでいけそうか。
1:48:13	いかがですか。
1:48:17	はい、乾イセでございますこのまま続けてやらせていただければと思います。
1:48:22	はい。規制庁のフジワラ市ではよろしくお願ひします
1:48:26	はい。日本イシハラでございますリビエセイノ設計項目の整理方針のお話から始めます。本件につきましては一つは
1:48:37	年末ですね整理していたものが変わってきたりしているものについて、しっかりとどういう考え方で、そう変えたのかということも含めてその関係性を明確にすると。
1:48:50	ということが一つ大きな項目としてであると認識をしています。
1:48:56	その上で

1:48:59	紐づけという意味ですね一つは
1:49:02	悪影響防止のところの、36 条側の展開、現状、冒頭宣言でもともとなつてたところを、1 國西ていろいろ仕分けをしてますけども、
1:49:13	やはり悪影響防止としてやらなきゃいけないことと、環境条件によって健全性の方に預けるものっていうのが、仕分けとしてあるだろうということで、その部分の、
1:49:23	頭の整理をちゃんと 36 条までやった上で、それぞれ必要なところに紐づけをしていくということ。
1:49:32	あとは、
1:49:36	竜巻の関係で見える云々のやつで、一つが機能喪失をする可能性があるという場合に、
1:49:46	2、予備品とかで交換をして、機能を確保すると言っているもの、現状屋外とかで、開放のやつに結びついたりあと屋外での経済性オカアノ。
1:49:59	イノウエ機能を確保すると言ってる李B側の竜巻のやつと紐付けたりしてますけどもこれ実際やってることを紐解いていけば、いわゆる
1:50:10	A側でただし書きになっている、防護対象以外の安全機能有する施設でやろうとすることと、前回同じだろうということでそれとの紐づけてのをどうするかということも含めて整理をしていくということ。
1:50:24	あとは、
1:50:28	義務づけの考え方ですね、これが本文にまずちゃんと書いてないのでこれ最終的には共通順にだったりも含めて展開をしないとイケないんですけども、
1:50:38	基本的な考え方をどう考えたのかということが、方針としてわかるように、整理をするということ。
1:50:46	はい。あとは、設計説明分類ですね。これが
1:50:55	可搬なんかで、屋内に保管してるものと、コンテナみたいに動かしてるものがあるという場合に現状 1 設備 1 設計説明分類という。うん。
1:51:07	一番最初に立ち上げたルールに基づいてやってますが、そのときに考えたリスクっていうのは、効くのか知らないのかも含めて整理をした上で、今回の紐づけをやりながら、最もや、
1:51:21	目的が達成できる方針を立てて整理をしていくということだと認識をして作業を進めたいと思います。
1:51:29	はい。
1:51:31	あと全体的にはシステム設計配置設計構造設計と言っているものを幾つか出てきた時にそれぞれで何を説明したいのかということが文章を読んでもわかりづらいところっていうのは文章の構築だったりそもそも要求事項との関係で、

1:51:46	何を説明したいのかっていうのを整理をしていくということかと思ってます。
1:51:51	はい。
1:51:53	あと、細かいところだとですかね、
1:51:59	接続孔の分散配置のところ屋外の扉の関係の話ということで今屋外の設備だったかな。
1:52:08	と紐づけというところ、DB側の整理等も含めて整合性を図っていくということで整理を進めたいと思ってます。
1:52:15	はい。
1:52:17	あとは今回竜巻以外のところがまだできが十分じゃないところを、さらにブラッシュアップ含めて作業していくということで、でございます。はい。
1:52:31	現在の就労でございます。
1:52:35	第一グループの資料3-2のコメント回答に関しましては、
1:52:40	まず基本的なところとして
1:52:47	コメントの趣旨をかなり朝見て、回答してしまっている。
1:52:52	しっかりちょっとそこら辺は、コメントとか背景、コメントした時の表文言表現も含めてですね、改めて確認をしてしっかり
1:53:05	表面的じゃなくてですね一つ一つのその構造に対して、
1:53:10	どういう、
1:53:12	全体要求に基づいてその機能、機能役割を持って、それを果たすためにどういうつけ方をしているのかといったところまで、しっかりと記述できるように、きちんと、
1:53:23	等、
1:53:24	統合したり類型化っていうようなところもあるんですけども、それぞれの
1:53:30	システムのシステム構造の構造で、非必要要求機能に対してですね、それぞれどう対応しているかっていったところがわかるように、
1:53:40	表現についてもまたほか及びとかの使い方がタイマーになっているところも散見されますので、
1:53:48	その辺の使い方も、
1:53:50	海でですね、直していかないといけないという認識です。
1:53:55	また
1:53:56	共通中における作成ガイド。
1:53:58	でもですね、
1:54:01	もうロール要求事項を網羅的に出して、その上で、それをどう潰し込みにいくのか、さらにさらには、
1:54:11	検査の中で何を見ていくのかといったところまでですね踏み込んだ記載になっていてですね。



1:54:17	ちょっとその辺の視点も食べてないというふうに認識しておりますので、それぞれの設備に対して
1:54:27	この観点からの要求に対してどういう構造なのかどういうシステムなのかと。
1:54:33	いったところについても、
1:54:36	修正していると。
1:54:38	いう理解をしております。またですね
1:54:42	その他回答の中でですね簡単に文字だけで書いてないところにつきましてはですね、
1:54:53	規制庁の日暮ちょっと音声が入るみたいですが、東京支社の方野瀬大丈夫ですか。
1:55:03	六ヶ所聞こえてるんでちょっと東京に確認します申し訳ありません。はい。そうですねですね。やっぱり石黒さん、少し前からちょっと音声が入り切れていて、少し前からお話戻して、
1:55:17	話していただいているんですか。
1:55:19	はい、かしこまりました。
1:55:21	今ちょっと話していたのはですね、
1:55:29	ガイドの話で、代表として出てきている、ボラ的に要求事項を抽出したものでそれが何の目的で設置されているかといったところの、明確にした上でですね。
1:55:44	どういうものを、どういうよ、機能を果たすためにしているかといったところまでしっかり書くということ。
1:55:53	加えて、
1:55:57	検査ですね、検査の際にはどのような機能を確認するのかといったところを含めて踏まえてですね、必要な寸法等があればですね記載していかないといけないと。
1:56:07	いう認識でございます。
1:56:09	D棟、
1:56:11	この辺ですね再質問に対する回答に対して、
1:56:17	ことがあるんですね、これ切り替わるとか、あれに書いてるんですけども、そういったものは言葉で書いてもわからないので、図で説明するといったようなことも必要ですし、
1:56:34	先ほど話ありましたように、比重が小さいって言ったら、その小さいってというのは何を使ってるのかという話でさらに比重が重い場合のものもあつたら、

1:56:45	そういったものに対する配慮っていうのは、違う代表として選ばないといけないんじゃないかといったような視点も含めてですね、ちょっと代表についてどこまでっていうのはあるんですけど、
1:56:57	そういった観点で必要なものがちゃんと注意されるといったところを意識して作り込んでいかないといけないという認識でございます。
1:57:06	また途中で通して6ページぐらいですかね、ちょっと文章の表現がですね良いちょっと寄集めになっていたりとかですねまたは床及び床の使い方が、
1:57:17	不十分といったような細かい表現のところにつきましても、
1:57:22	よく丁寧に見て修正が必要だというふうに認識しておりますので、そこも含めてちょっと直した、直して、ちょっと提出につなげていきたいというふうに考えております。以上です。
1:57:33	はい。規制庁の藤原です。振り返りについてなんですが、
1:57:38	両方ともになるのか。衛藤。
1:57:41	次にバイス版の提出とかってどういうふうになりますか。いつぐらいのめどでできそうですか。
1:57:55	はい、米原でございます。
1:58:00	そうですねちょっと中で議論して、1回頭するようにしますスケジュールを落とすようにします
1:58:07	先ほどもあったように、今日の午前中あったようにですね、
1:58:11	アクセスルートみたいなものを見、説明グループ1だけで整理をすることがなかなか答えに結びつくかという点ではミツイ側の整理ということも含めて、
1:58:23	見ていかないといけないものもあり、あとは先ほど、竜巻以外のところのグレーの敵があまりよくないところまだ、途中段階のところを底上げしていくという作業も含めて、ちょっと作業の
1:58:37	進め方と、資料提出をするというのをどういうパターンでやるかということも含めて整理をさせていただきますと。
1:58:48	はい。規制庁の藤原です。わかりました。そのめどを来週の初めにでも、あれですかね。
1:58:55	どのぐらいでできそうですっていう話を聞かせていただけたらいいのかなと思いますので、また連絡してください。
1:59:03	はい。日本原燃塩野でございます承知しましたこちらもですねちょっと根本的なコメントをいただいているのでですね、資料を修正というような簡単な、
1:59:14	形での記述の回答難しいと思いますので少し
1:59:19	社内に議論させていただいて、来週早い段階で、

1:59:22	お示しできるようにしたいというふうには考えております。以上です。
1:59:27	規制庁の藤原です。その他、規制庁側から何かありますでしょうか。
1:59:33	規制庁の荒井ですけど。
1:59:36	ちょっと二つ目の方は、少し深刻だなっていうふうに思っていますね。
1:59:43	やっぱりMOXの先行してるMOXの作業状況とか作成ガイド。
1:59:49	市、
1:59:52	見あんまり見て、多分作り込み中だから見ていないっていうところが正直な答えであったと思うんですけども、ちょっとそれでは全然、
2:00:01	また同じようなことが起きるのかなと思っっていますね。
2:00:06	目標については資料4の方で拡充を進めてそれで資料4やる中で、例えば資料3にフィードバックするようなどころもあるので、
2:00:17	MOXの方の審査の状況をしっかり、
2:00:21	最初井川のSteeringチームでも見ていただいてですね、県は参加していただいて、それを作業部隊に伝えるっていう役目が必要なのかなと思っっているんですけどいかがですか。
2:00:37	エネルギーイシグロです。そうですねそこおっしゃる通りですし、またMOXと再処理側での
2:00:45	コネクションなるメンバーというのも、アサインしているのも実態ですので、その
2:00:51	両面からですね、しっかりキャッチアップできるようにしていきたいと思っます以上です。
2:00:59	はいよろしくお願いします。
2:01:02	規制庁のフジワラその他規制庁側からありますでしょうか。
2:01:08	大丈夫ですかね。
2:01:09	衛藤。
2:01:10	原燃側からも、何か全体通してありますでしょうか。
2:01:18	特にございません。はい。
2:01:20	これで本日のヒアリングを終了したいと思いますので、0コウ停止します。